

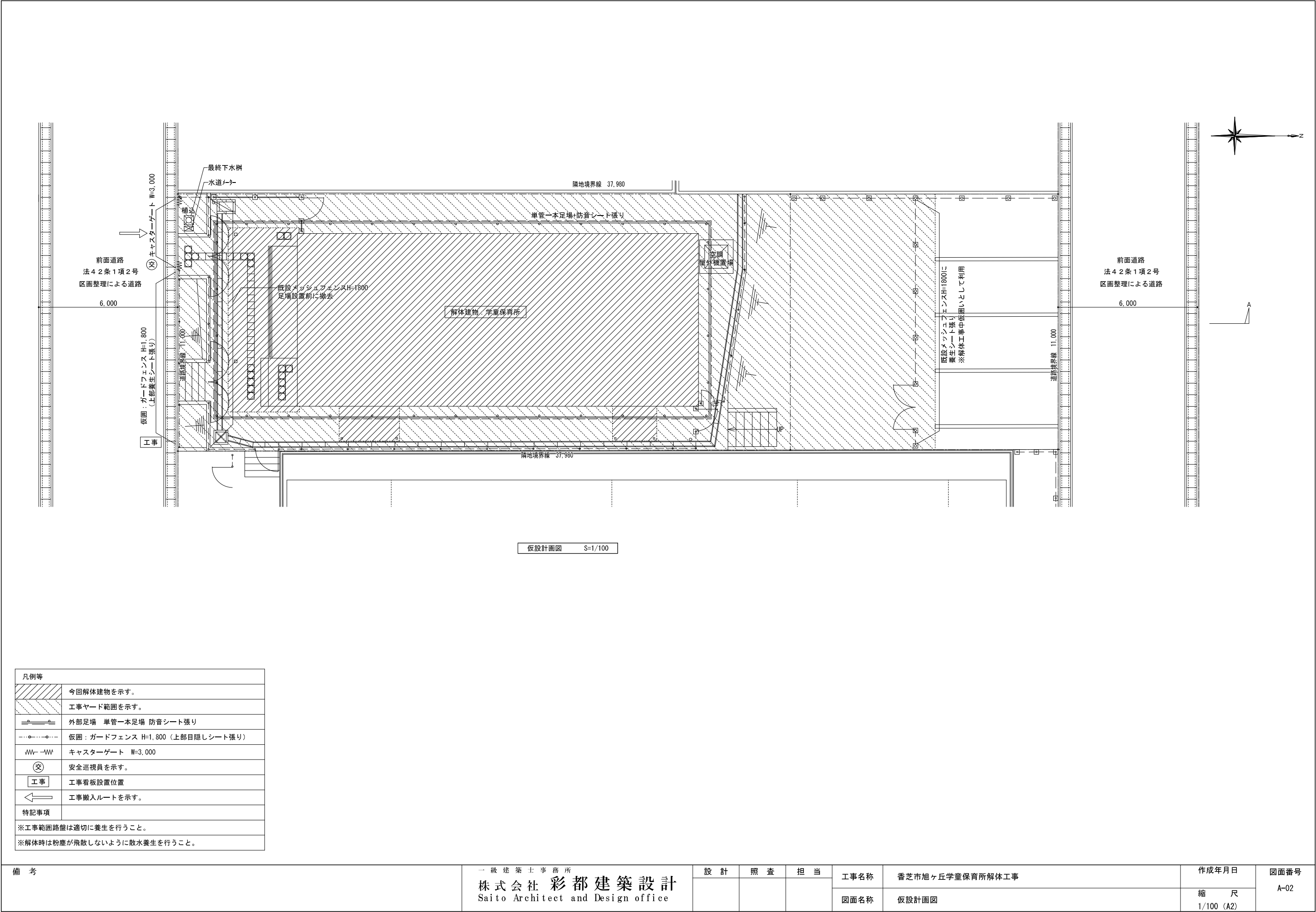
香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事

A-意匠図		E-電気設備工事		M-機械設備工事	
番 号	図面名称	番 号	図面名称	番 号	図面名称
A - 00	タイトル	E - 01	電気設備工事特記仕様書	M - 01	機械設備工事特記仕様書
A - 01	特記仕様書	E - 02	分電盤結線図・照明器具姿図	M - 02	機器表・器具表（衛生・空調・換気）
A - 02	仮設計画図・部分詳細図	E - 03	引込・動力・コンセント・弱電設備図	M - 03	配置図（衛生）
A - 03	付近見取図	E - 04	電灯設備図	M - 04	平面図（衛生）
A - 04	配置図・敷地断面図・敷地丈量図（解体前）			M - 05	平面図（空調・換気）
A - 05	配置図・敷地断面図（解体後）				
A - 06	外部仕上表・内部仕上表				
A - 07	平面図・立面図・断面図				
A - 08	矩計図				
A - 09	平面詳細図				
A - 10	展開図				
A - 11	天井伏図・建具配置図・建具表				
A - 12	雑詳細図				
A - 13	外構詳細図				
A - 14	構造図 1				
A - 15	構造図 2				

令和 7 年 6 月

株式会社 彩都建築設計

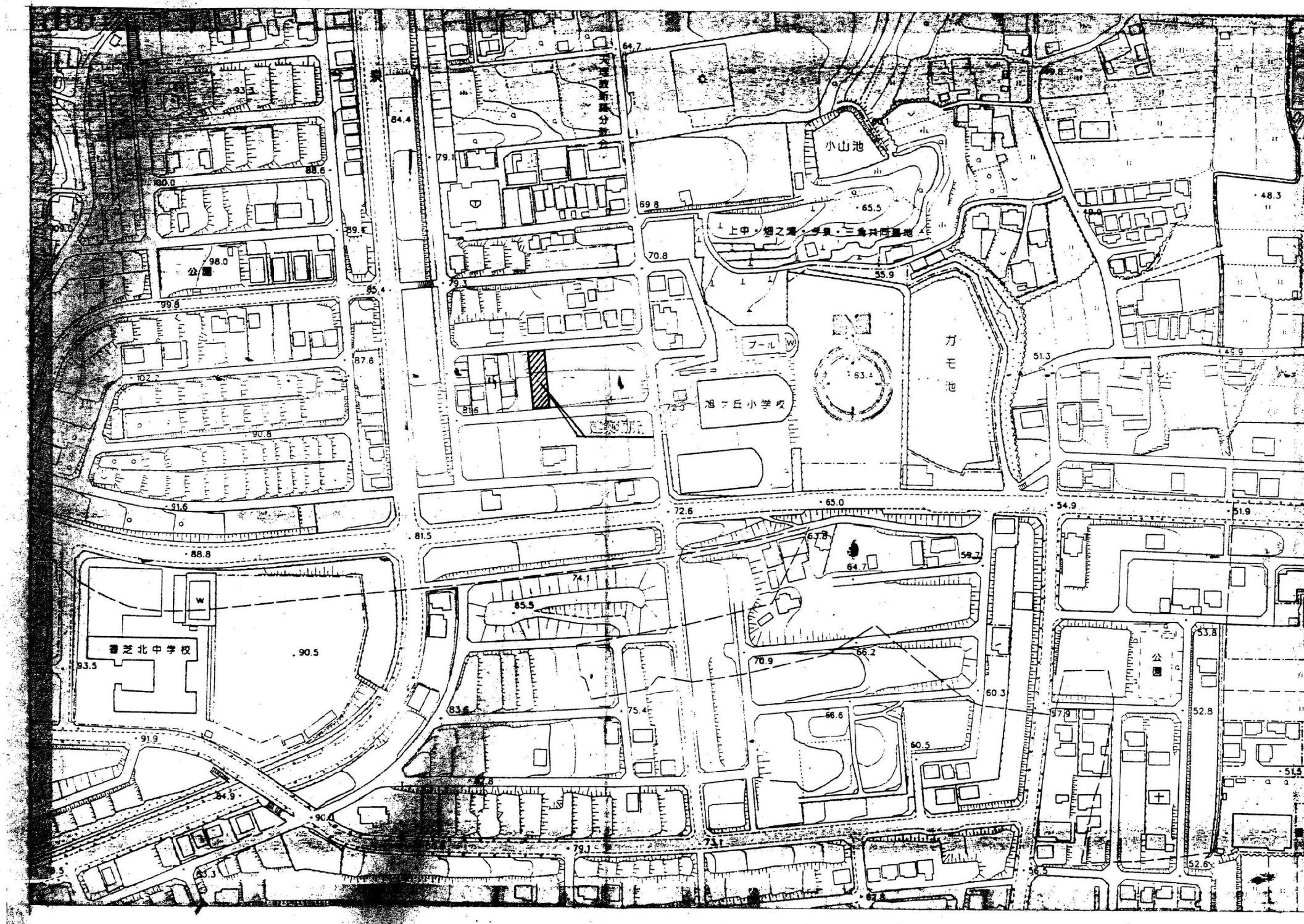
[illegible]



凡例等	
	今回解体建物を示す。
	工事ヤード範囲を示す。
	外部足場 単管一本足場 防音シート張り
	仮囲い：ガードフェンス H=1,800 (上部目隠しシート張り)
	キャスターゲート W=3,000
	安全巡視員を示す。
	工事看板設置位置
	工事搬入ルートを示す。
特記事項	
※工事範囲路盤は適切に養生を行うこと。	
※解体時は粉塵が飛散しないように散水養生を行うこと。	

備 考	一 級 建 築 士 事 務 所 株式会社 彩 都 建 築 設 計 Saito Architect and Design office	設 計	照 査	担 当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号
					図面名称	仮設計画図	縮 尺 1/100 (A2)	A-02

S = 1 : 2500



備考

一級建築士事務所

株式会社 彩都建築設計
Saito Architect and Design office

設計

照 查

担当

工事名称

香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事

図面名称	
------	--

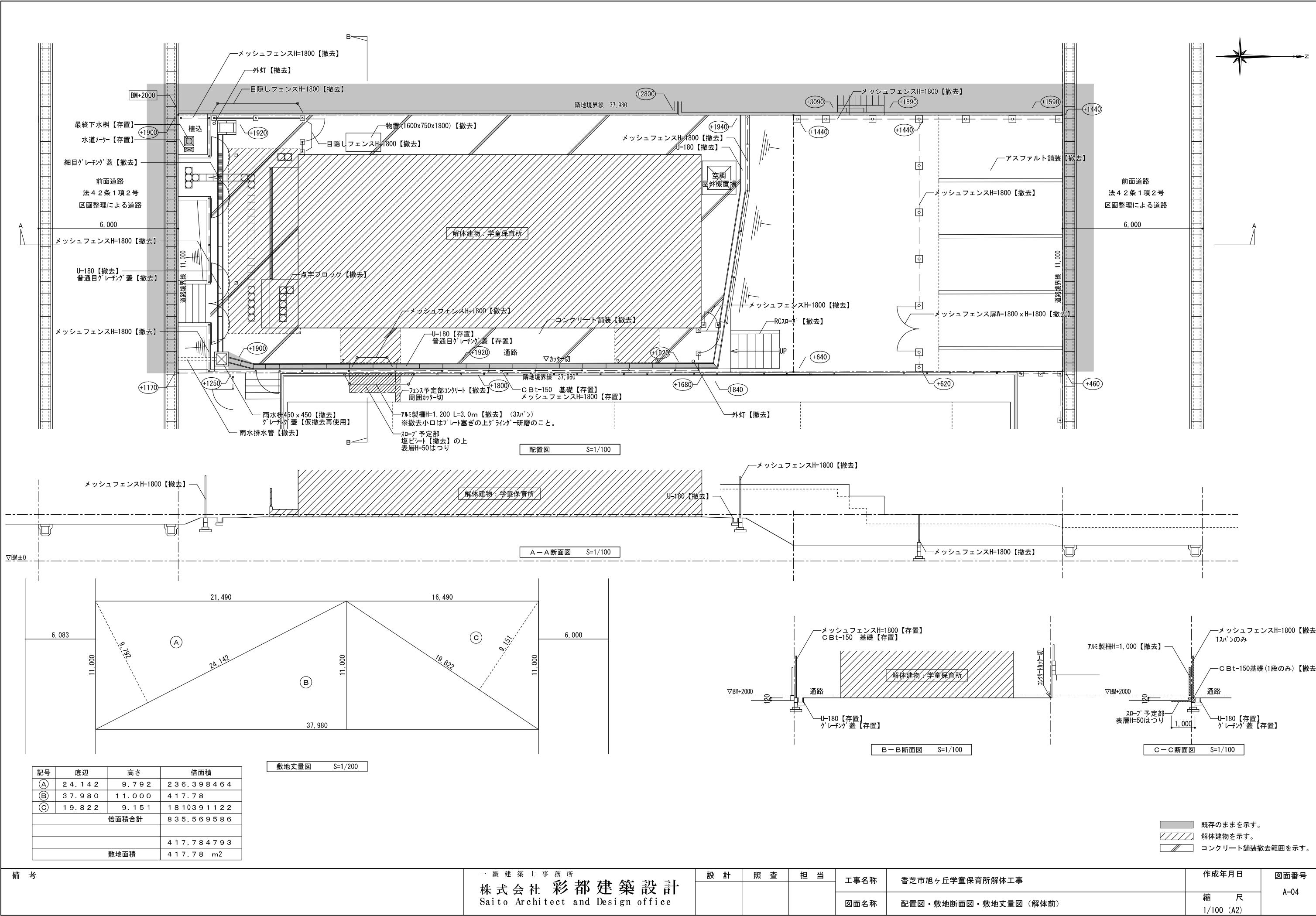
付近見取図

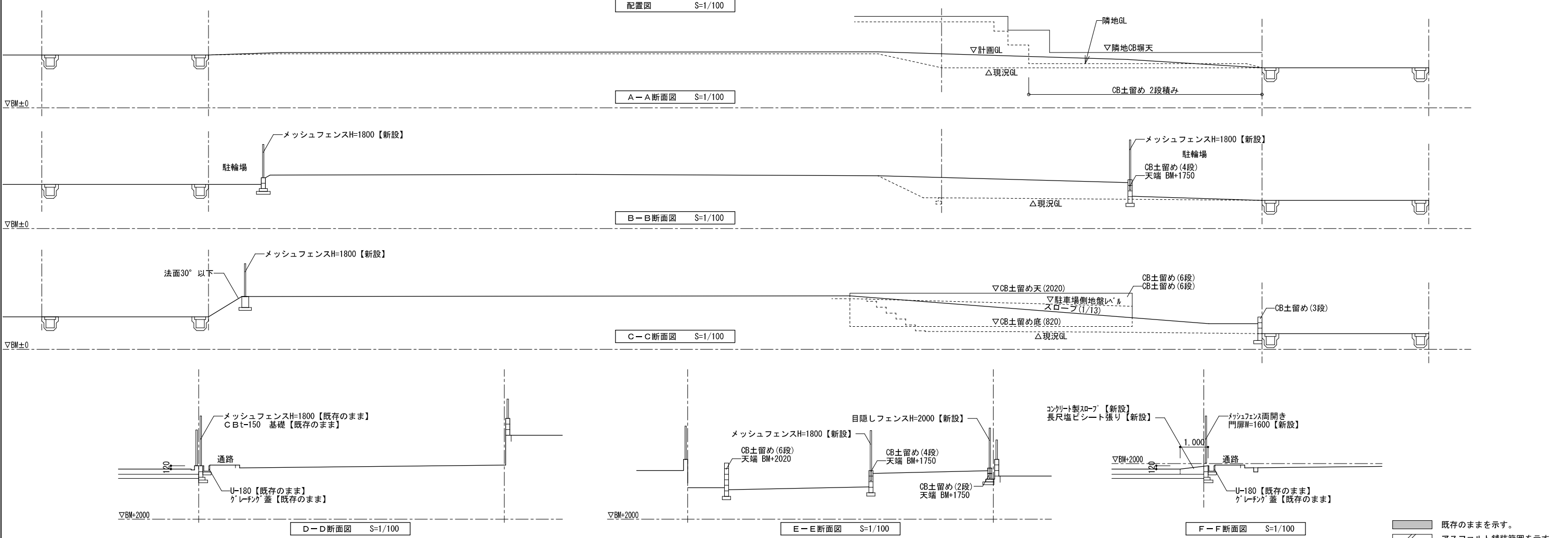
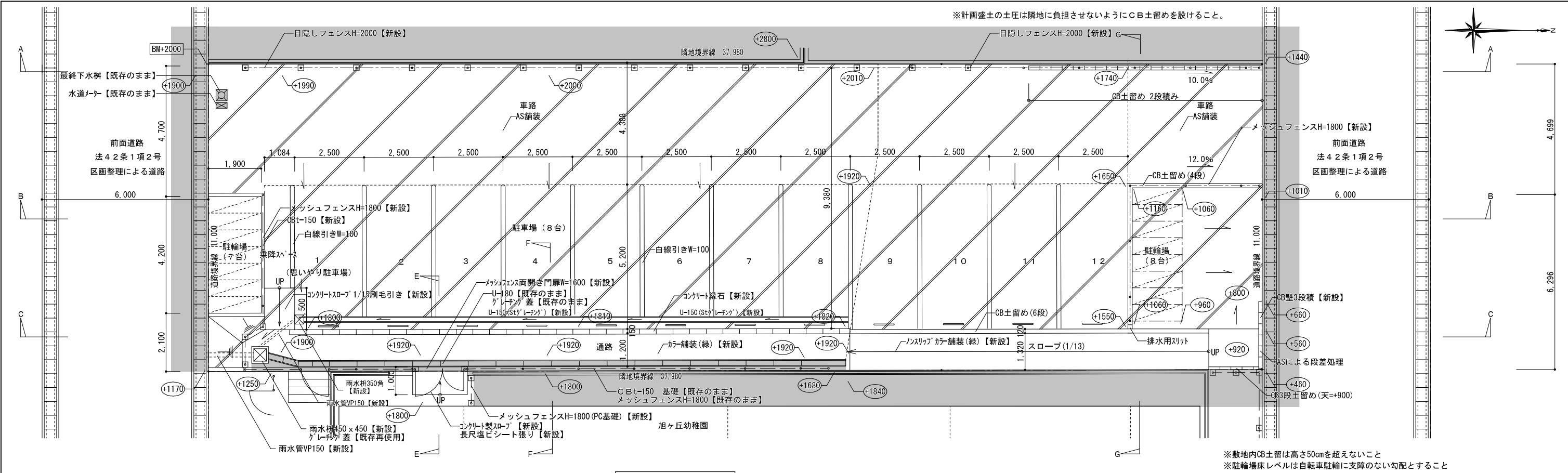
作成年月日

縮 尺
1/2500 (A2)

図面番号

A-03





備 考	一 級 建 築 士 事 務 所 株式会社 彩 都 建 築 設 計 Saito Architect and Design office	設 計	照 査	担 当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号 A-05
					図面名称	配置図・敷地断面図（解体後）	縮 尺	
							1/100 (A2)	

外部仕上表

部 位	仕 様	部 位	仕 様	部 位	仕 様
屋根	ルーフデッキ:カラー鉄板 t=0.6 裏面ベフ t=4.0貼り 専板:カラー鉄板 t=0.6	付 帯 工 事		階段 (北・南共)	RC階段 踏み面・蹴上面 モルタル金コテ押さえ
		フェンス	目隠しフェンス H=2.0m 片開き目隠しフェンス門扉W=1m		
外壁	窯業系サイディング t=12(塗装品) 木組下味 グラスワール A100		メッシュフェンス H=1.8m 両開きメッシュフェンス門扉W=1.8m 片開きメッシュフェンス門扉W=1m・0.6m	駐車場	クラッシュラン置地 t=100
					入口:鉄柱 H=1.2m SOP塗 SUS6ふくさり張り(南京錠付き)
地面	モルタル [▲] 刷毛引き コンクリート基礎	洗い場	立ち上がり:コンクリートブロック A100積み 底:モルタル金コテ押さえ 排水目皿50φ コン柱木栓		
				周囲のり面	土羽たたき 部分補修
建具	アルミサッシ(シルバー)	補込	化粧リブブロック t=120積み サツキ玉密植(W=0.3)		
	西側窓外:目隠しルーバ ポリカーボネイトパネル仕様 開口率17.8%				
		空調屋外機基礎	コンクリートこて押さえ A200		
ポーチ庇	ルーフデッキ:カラー鉄板 t=0.6 専板:カラー鉄板 t=0.6 鉄骨:SOP塗				
		アプローチ	コンクリートこて押さえ A80 点字床材敷設(300*300)レジコン製		
ポーチ・スロープ	コンクリート金こて押さえ (スロープ部ほうき目仕上げ) スチール手摺 H=800 SOP塗				
	点字床材敷設(300*300)レジコン製	大走り	コンクリートこて押さえ A80 クラッシューラン A50		
植	軒端:折板用角種W=120 縦端:VP-75 VE塗	CB土留め	CB t=150 2段積み		
			U字側溝 U=180 一部グレーチング 両開きフェンス扉前のみ細目グレーチング(W=2.0m)		

内部仕上表

階	室 名	床				巾木		壁			天井				廻り縁	備考
		下地	仕上	メーカー・品番	FL・H	仕上	H	下地	仕上	メーカー・品番	下地	仕上	メーカー・品番	CH		
	玄関	Mo	長尺エンビシート A2	アブレーン	445	ビニル巾木	75	WP	ビニールクロス貼り PT-G t=12.5		LGS	化粧石膏ボード t=9.5	GW-100敷き込み	2650	エンビ	ステンレス見切り
	学童保育室	W	タイルカーペット A6	500*500	450	ビニル巾木	75	WP	ビニールクロス貼り PT-G t=12.5		LGS	化粧石膏ボード t=9.5	GW-100敷き込み	2650	エンビ	ホワイトボード 1800×900 2ヶ所
	便所	W	長尺エンビシート A2 ラワン合板 t=4増張り	アブレーン	450	ビニル巾木	75	WP	環境対策壁紙貼り PT-G t=12.5 便器前壁紙:100角タイル接着貼り 耐水PT-G t=12.5		LGS	珪酸カルシウム板 A6 EP	GW-100敷き込み	2400	エンビ	室名札 ステンレス見切り
	便所(車椅子対応)	W	長尺エンビシート A2 ラワン合板 t=4増張り	アブレーン	450	ビニル巾木	75	WP	環境対策壁紙貼り PT-G t=12.5 便器前壁紙:100角タイル接着貼り 耐水PT-G t=12.5		LGS	珪酸カルシウム板 A6 EP	GW-100敷き込み	2400	エンビ	室名札 ステンレス見切り 手摺(2ヶ所)
	湯沸室	W	長尺エンビシート A2 ラワン合板 t=4増張り	アブレーン	450	ビニル巾木	75	WP	ビニールクロス貼り PT-G t=12.5 流し台前:珪酸カルシウム板 A6 VP		LGS	珪酸カルシウム板 A6 EP	GW-100敷き込み	2400	エンビ	室名札 ステンレス見切り 流し台:L=1000 ガス台:L=500 吊り戸棚:L=1000 フード:W=600
	物入	W	ラワン合板 t=5.5増張り		450	雑巾刷り		WP	ラワン合板 t=5.5		LGS	ラワン合板 t=5.5	GW-100敷き込み	2650	木製	室名札 中段 枕障

※1. 環境対策壁紙は、スターレインボー同等品とする(ドリカム(株)) ※3. ▲はアスベストみなし建材とする
※2. 使用建材は全てJIS・JAS規格(F☆☆☆☆)を使用する事

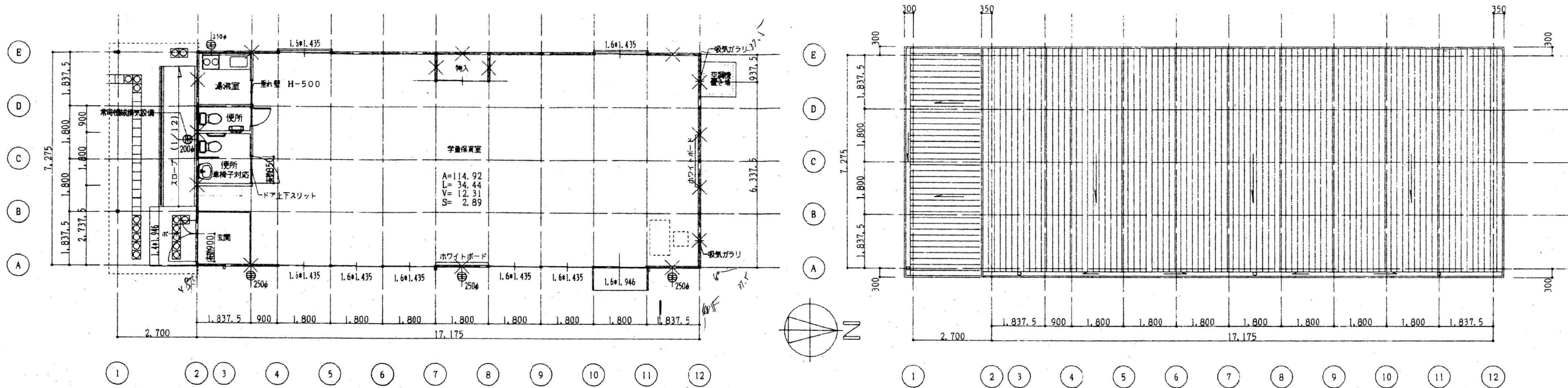
下地リスト

記 号	床下地	記 号	壁下地	記 号	天井下地
Mo	モルタル金こて押さえ下地 土間コン A120押さえ	WP	木組電柱組	LGS	軽量鉄骨天井下地
W	ラワン合板 A12 木組アラ床下地	PT-G	石膏ボード		

塗装記号

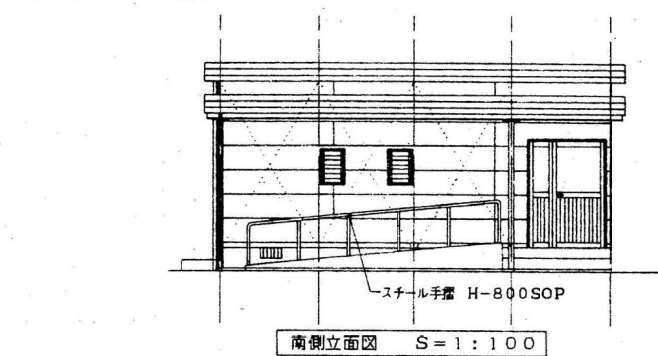
記 号	仕様	用途	記 号	仕様	用途
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	鉄部	錆止め塗料	シアミッド鉛錆止め塗料 JIS K5625 1回塗	鉄部全て
EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	ボード面			
VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗料塗り	ボード面			
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部			

備 考	一 級 建 築 士 事 務 所 株式会社 彩 都 建 築 設 計 Saito Architect and Design office	設 計	照 査	担 当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号
					図面名称	外部仕上表・内部仕上表	縮 尺 —	A-06

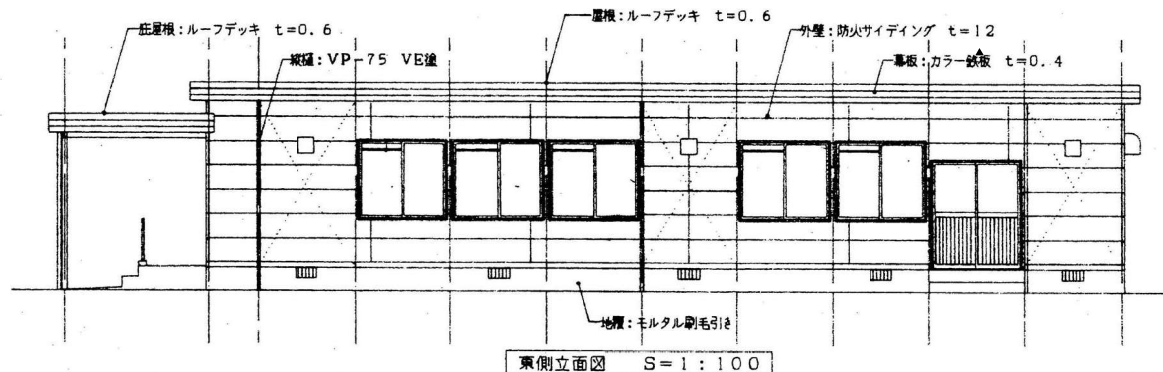


平面図 S=1:100

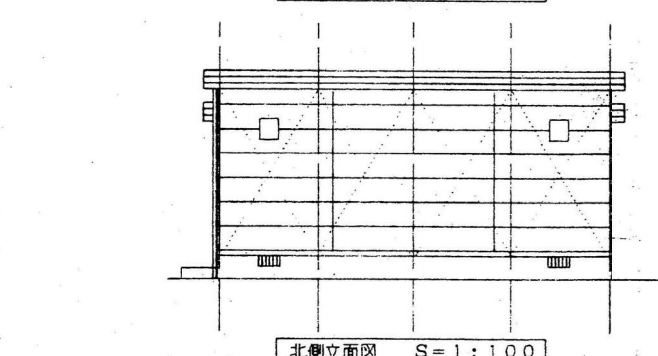
数値の値、仕口は告示1464号による
壁プレスは 1-M12 とする



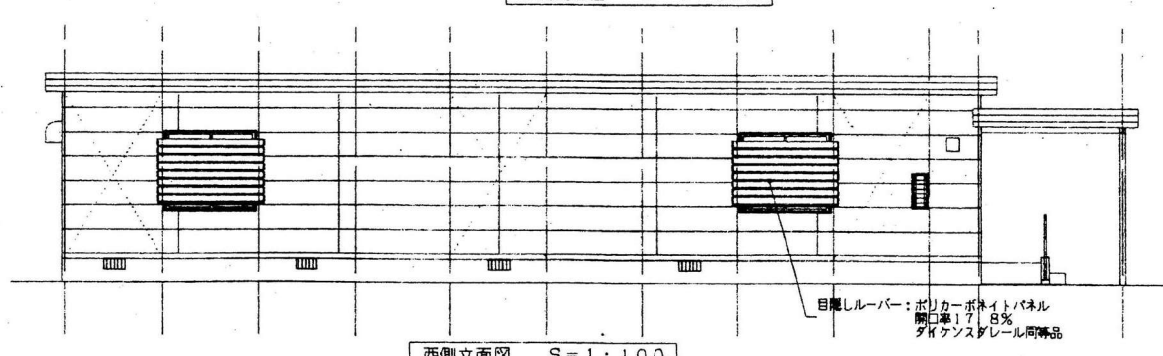
南側立面図 S=1:100



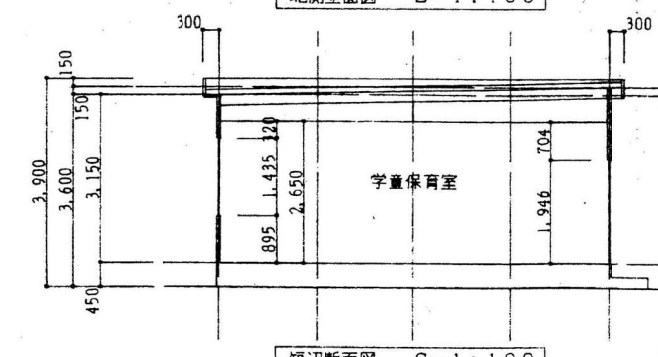
東側立面図 S=1:100



北側立面図 S=1:100



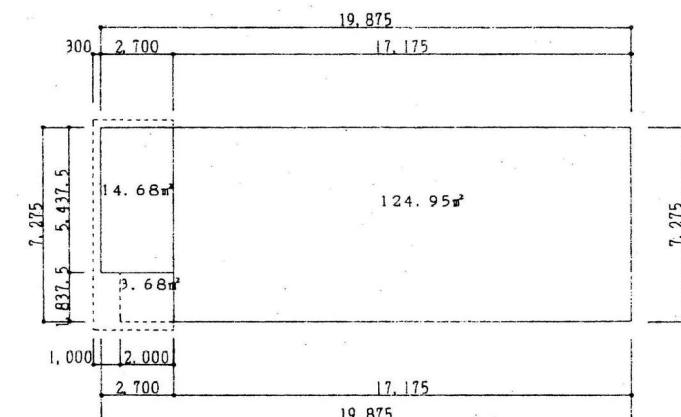
西側立面図 S=1:100



短辺断面図 S=1:100



長辺断面図 S=1:100



面積算定図 S=1:200

建築面積 124.95+14.68+3.68 = 143.31㎡

床面積 124.95+14.68 = 139.63㎡

室名	火気使用室	脱衣室
天井	珪酸カルシウム板 t=6 NM-8576	
壁	ビニールクロス QM-9479 GB-Rt=12.5 NM-8619	
垂壁	ビニールクロス QM-9479 GB-Rt=12.5 NM-8619	

※ ▲は、アスベストみなし建材とする

備考

一級建築士事務所
株式会社 彩都建築設計
Saito Architect and Design office

設計 照査 担当

工事名称 香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事

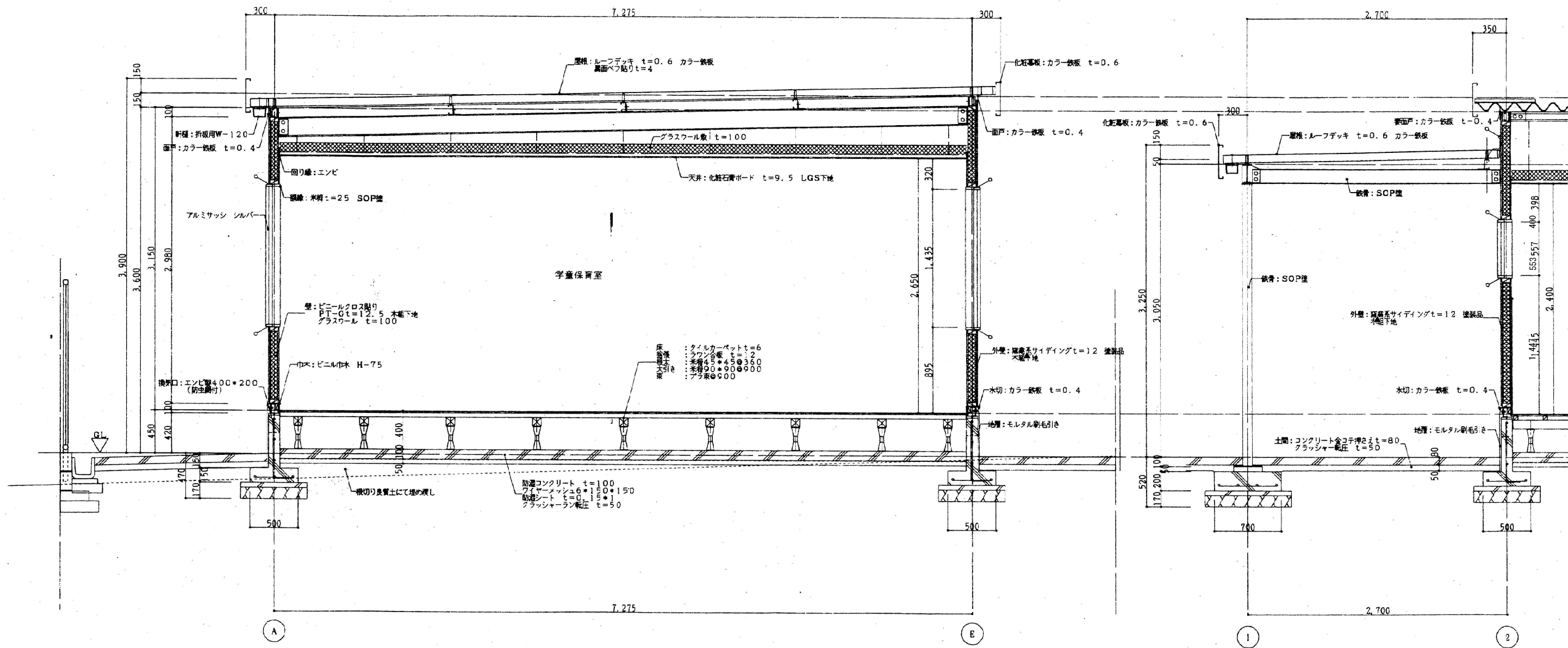
図面名称 平面図・断面図・立面図

作成年月日

縮尺
1/100 (A2)

図面番号

A-07

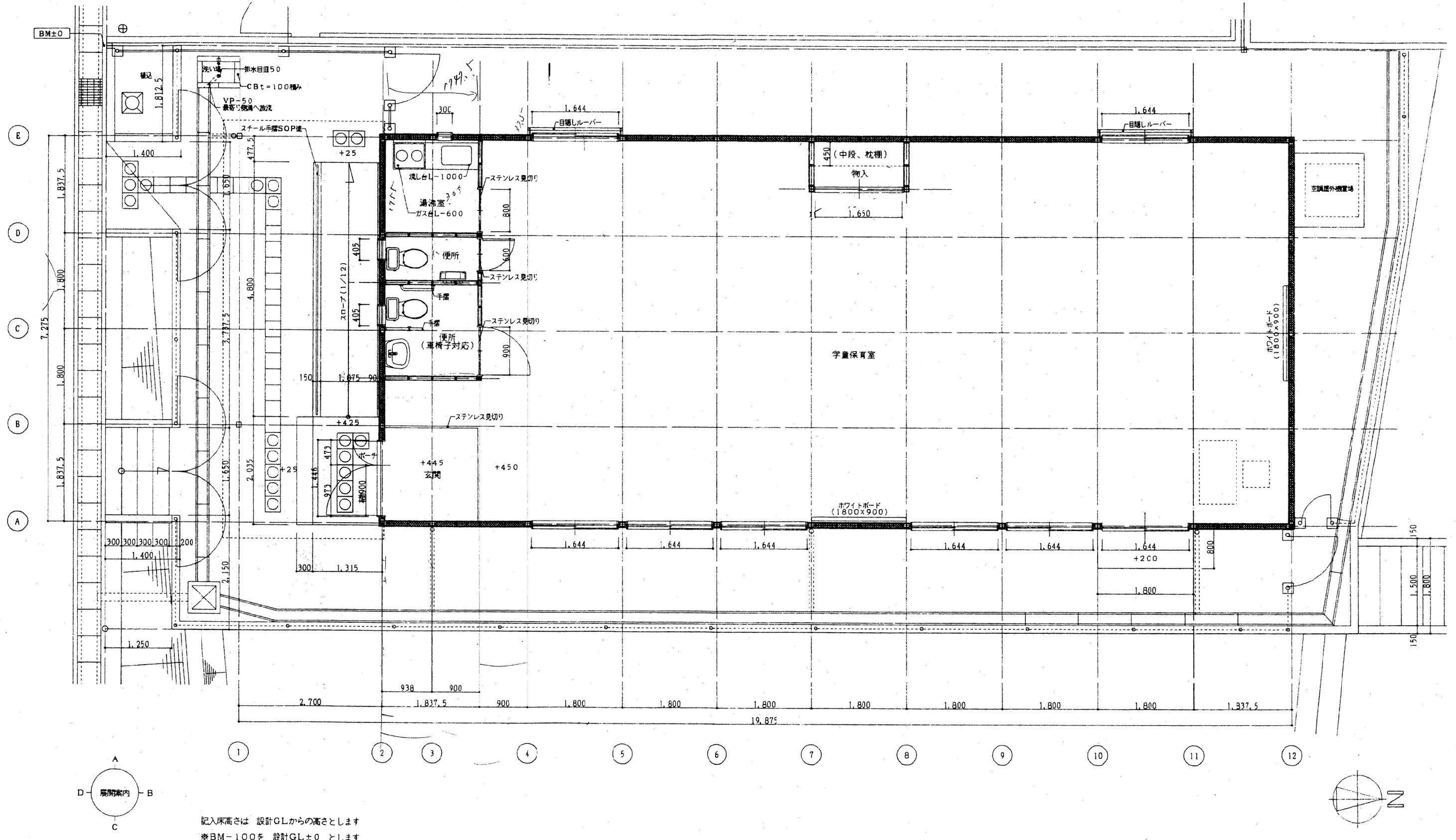


矩計図 s=1:30

使用建築材料は 全て JIS・JAS規格 (F☆☆☆☆) とする。

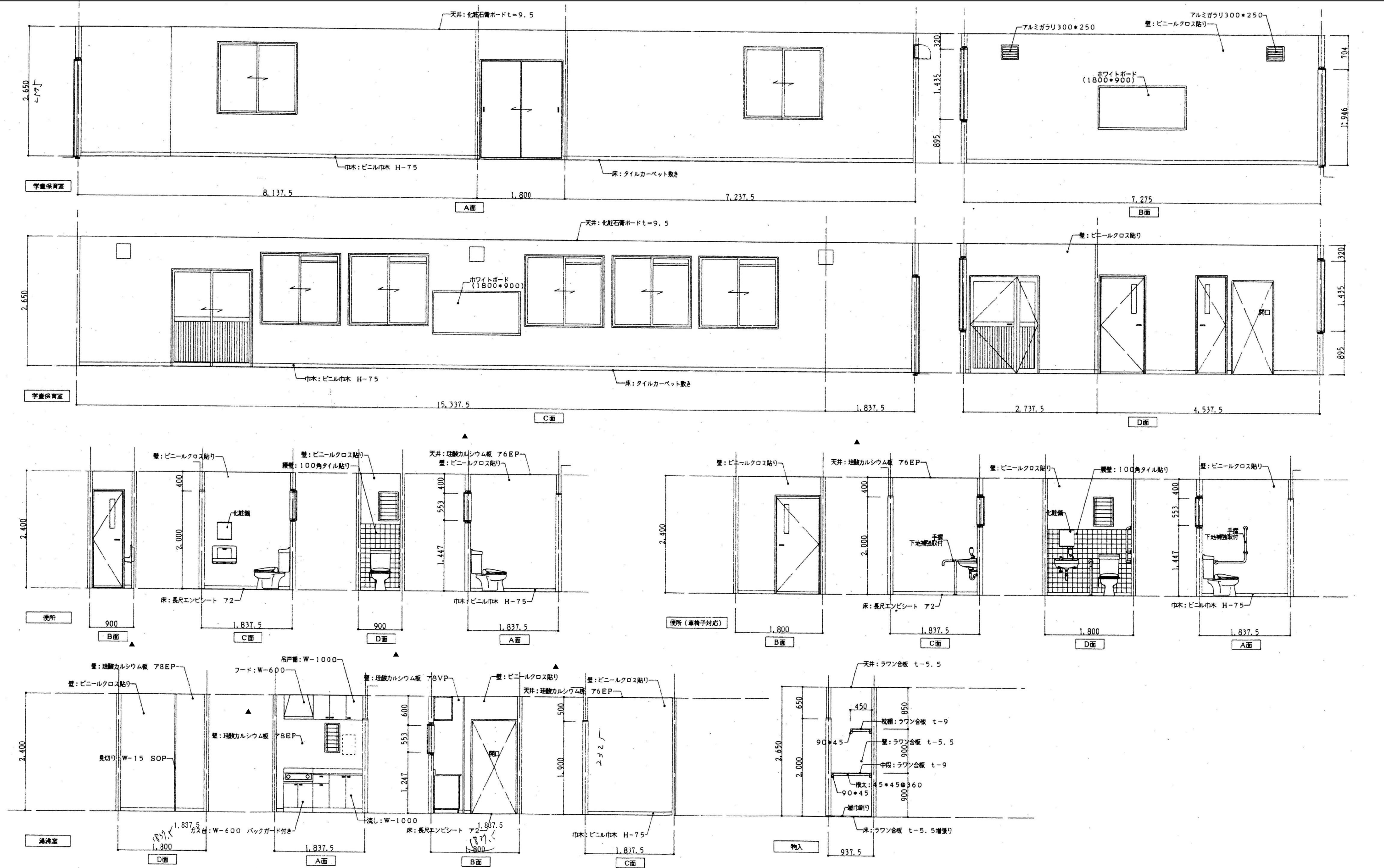
※ ▲は、アスベスト含有建材とする

備 考	一級建築士事務所 株式会社 彩都建築設計 Saito Architect and Design office	設 計	照 査	担 当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号 A-08
					図面名称	矩計図	縮 尺 1/30 (A2)	



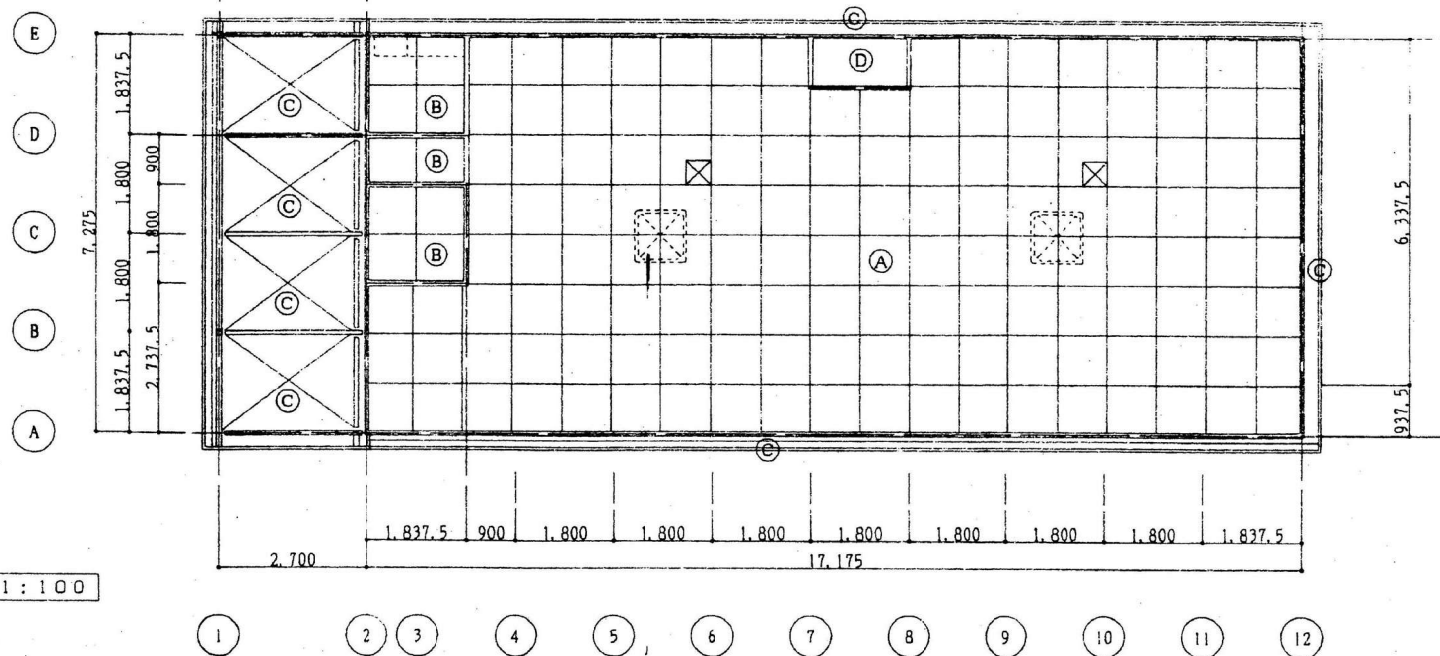
記入床高さは 設計GLからの高さとし
※BM-100を 設計GL±0 とします

備 考	一級建築士事務所 株式会社 彩都建築設計 Saito Architect and Design office			設 計	照 査	担 当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号 A-09
							図面名称	平詳細面図	縮 尺 1/50 (A2)	



※▲はアスベストみなし建材とする

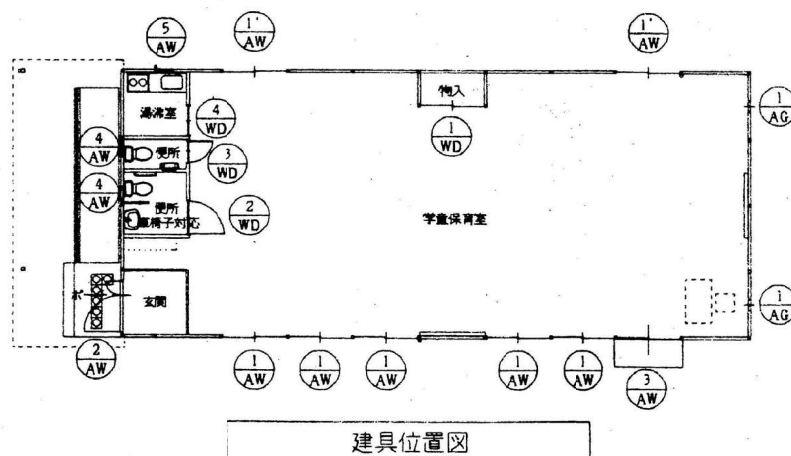
備考	一級建築士事務所 株式会社 彩都建築設計 Saito Architect and Design office	設計	照査	担当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号
					図面名称	展開図	縮尺 1/50 (A2)	A-10

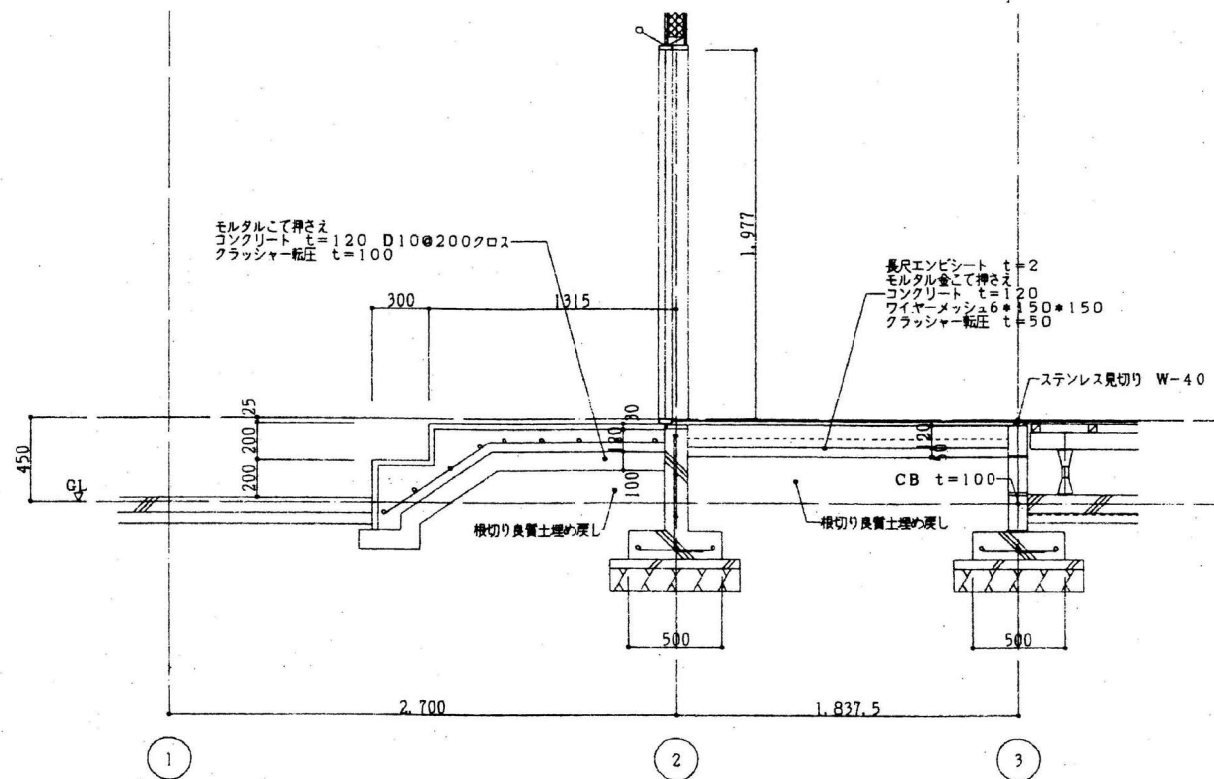


記号	仕上り
(A)	化粧石膏ボード t=9.5 LGST地
(B)	珪藻カルシウム板 t=6 EP塗 LGST地
(C)	ルーフデッキ現し 鉄部 SOP塗
(D)	ラワン合板 t=5.5 LGST地
⊗	天井点検口 アルミ 450×450

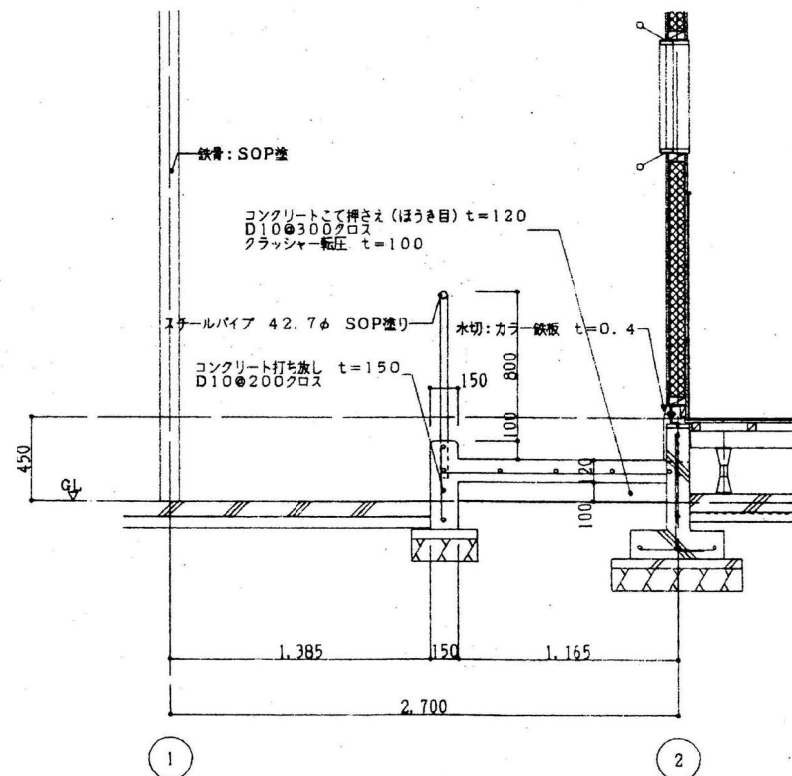
※▲はアスベストみなし建材とする

建具表 S=1/50		AW 1		5ヶ所		AW 1'		2ヶ所		AW 2		1ヶ所		AW 3		1ヶ所		AW 4		2ヶ所		AW 5		1ヶ所	
表図	記号 数量	AW 1		5ヶ所		AW 1'		2ヶ所		AW 2		1ヶ所		AW 3		1ヶ所		AW 4		2ヶ所		AW 5		1ヶ所	
	用途	学童保育室		学童保育室		学童保育室		学童保育室		学童保育室		学童保育室		学童保育室		学童保育室		学童保育室		学童保育室		学童保育室		学童保育室	
	名称	引き違い窓		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様		引き違い窓 複層ガラス仕様	
	仕様 見込	アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)		アルミシルバー (木造用半外付)	
	ガラス	透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0		透明ガラス t=5.0	
裏図	付属金物	クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸		クレセント AP 換気用 網戸	
	付属金物一式	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
	記号 数量	WD 1		1ヶ所		WD 2		1ヶ所		WD 3		1ヶ所		WD 4		1ヶ所		WD 5		1ヶ所		WD 6		1ヶ所	
	用途	学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入		学童保育室-物入	
	名称	引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸		引き違い戸	
	仕様 見込	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ	
	ガラス	---		---		---		---		---		---		---		---		---		---		---		---	
	付属金物	引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車		引き手 戸車	
	付属金物一式	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	





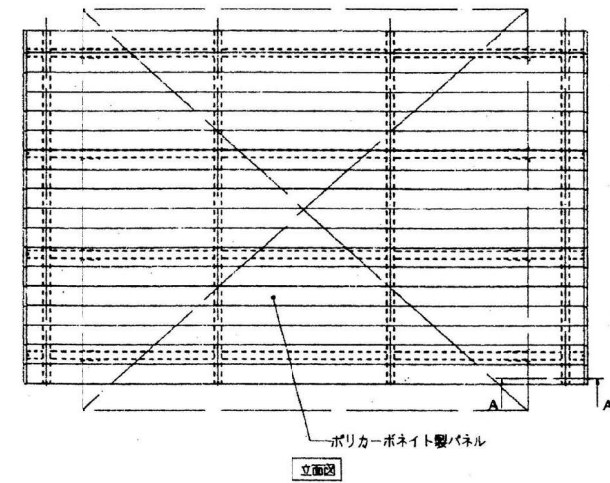
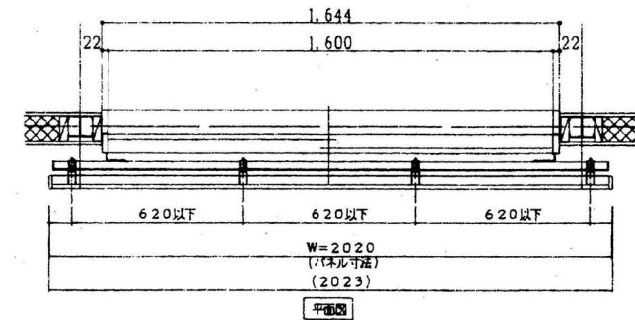
玄関ポーチ階段 断面図 S=1:30



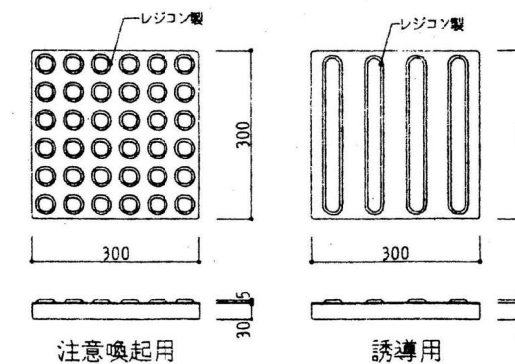
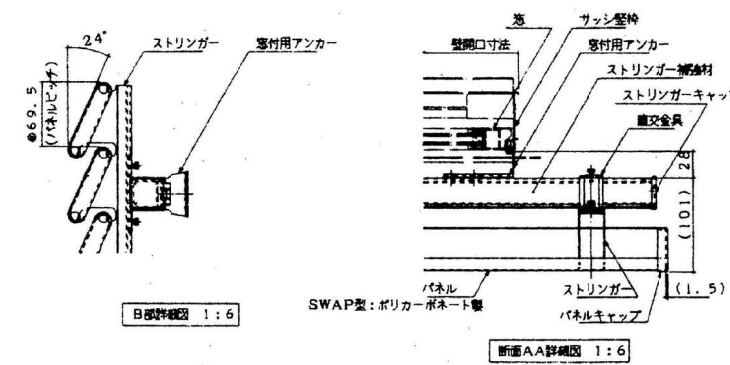
スロープ 断面図 S=1:30

目隠しルーバー詳細図 S=1:20

スダレルーバー ダイケン 同等品
開口率 17.8% ポリカーボネート 仕様



※取付高さは参考とし監督員と協議する事



点字床材 S=1:10

備考

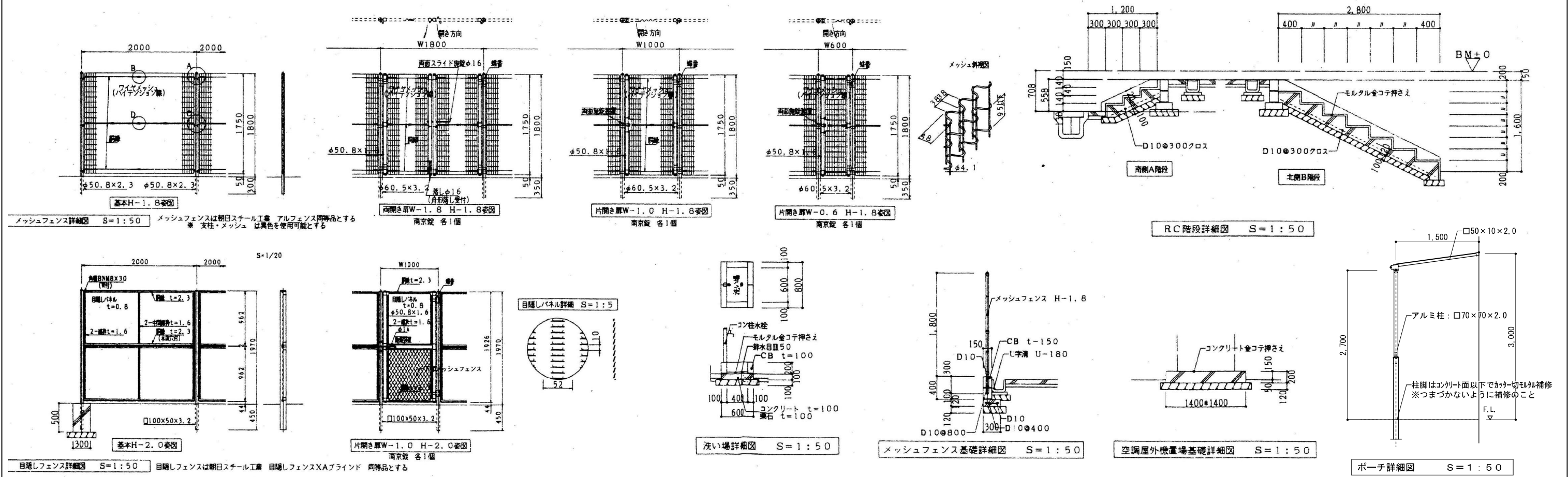
一級建築士事務所
株式会社 彩都建築設計
Saito Architect and Design office

設計 照査 担当
工事名称 香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事
図面名称 雑詳細図

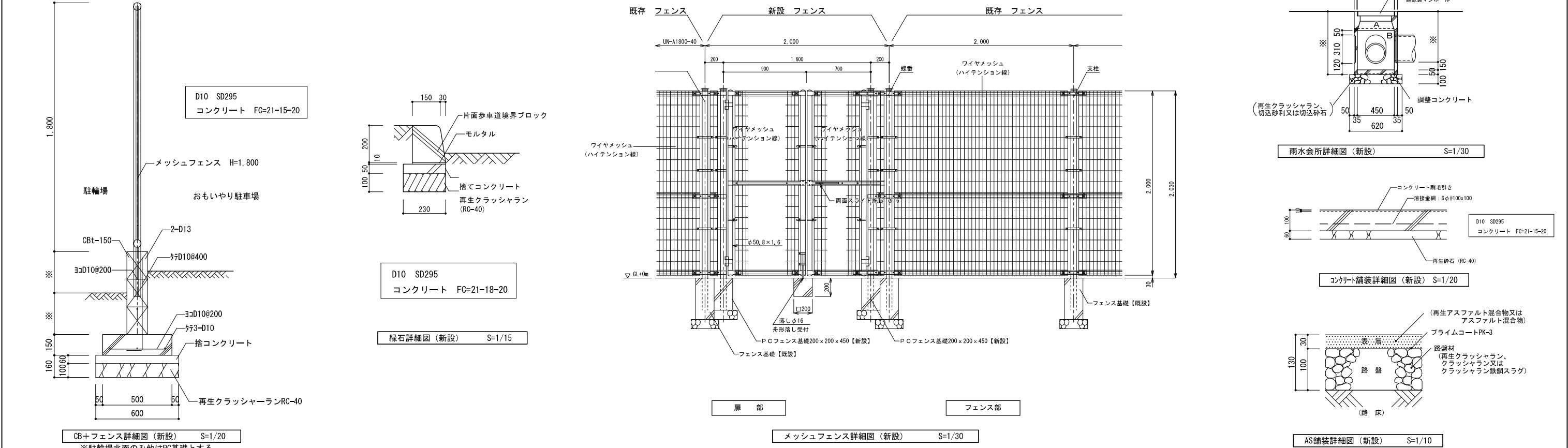
作成年月日 縮尺 1/10・30 (A2)

図面番号 A-12

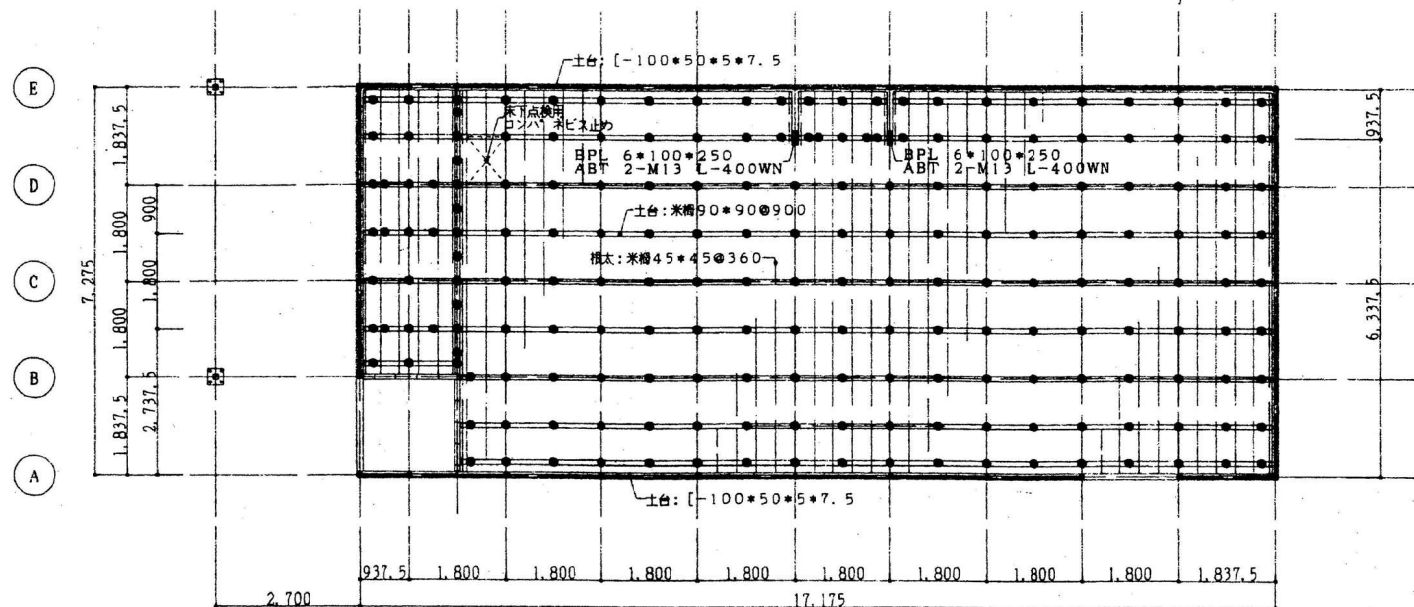
撤去詳細図



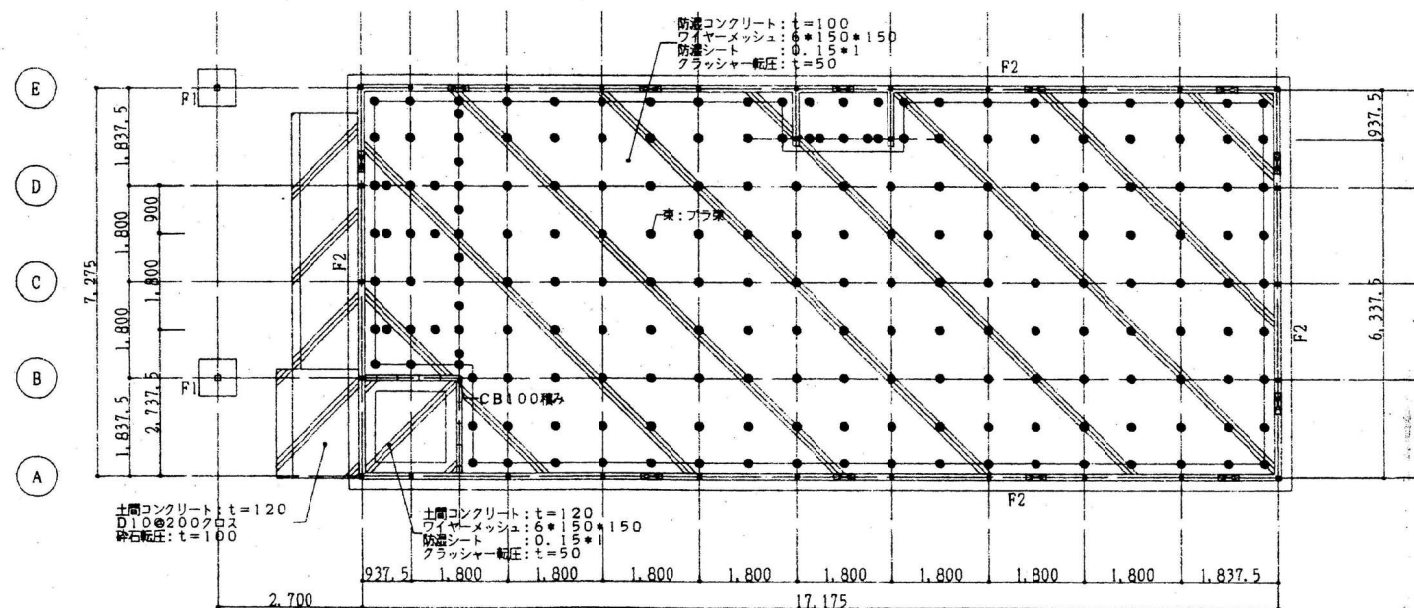
改修詳細図



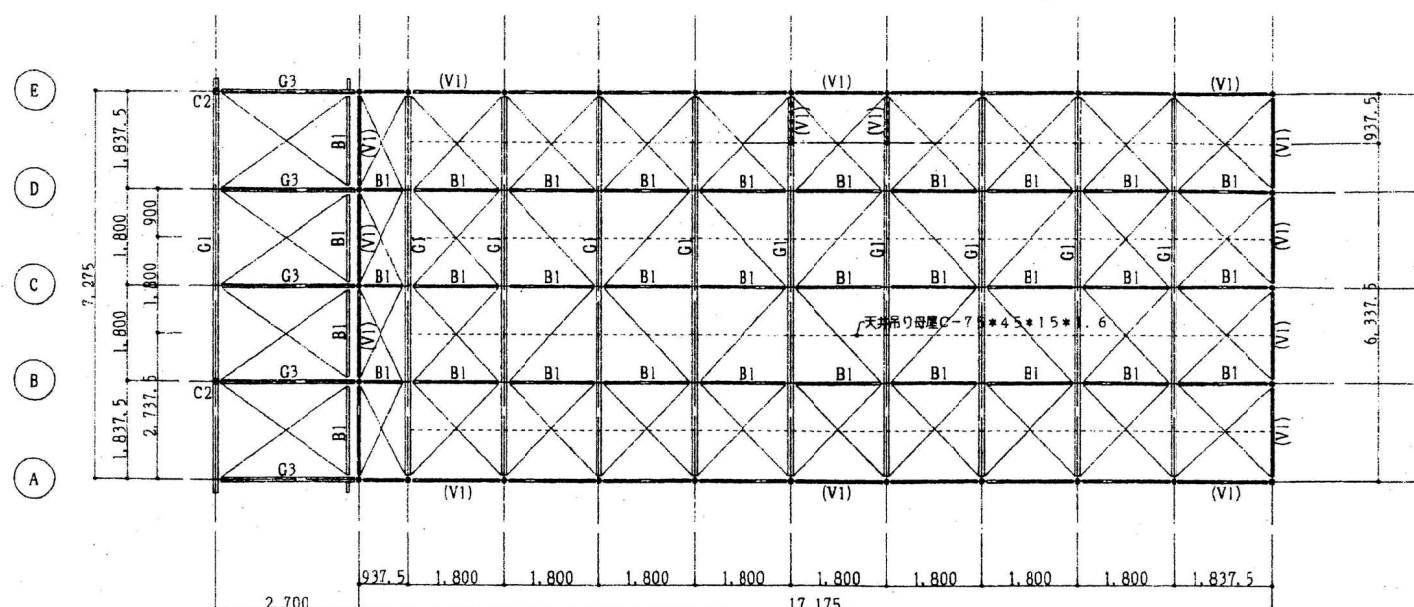
備考	一級建築士事務所 株式会社 彩都建築設計 Saito Architect and Design office	設計	照査	担当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号 A-13
					図面名称	外構詳細図	縮尺 01/100 (A2)	



床組図 S=1:100



基礎図 S=1:100



特記無き部材は下記による

柱 : C1
梁 : G2
水平ブレース : V2

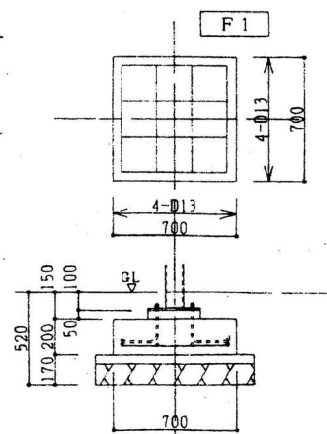
梁伏図 S=1:100

柱リスト S=1:30		
記号	C1	C2
断面	工	□
リスト	2C-75*45*15*2.3	□-100*100*3.2
B. PL		6*300*300
ABT	1-M13 (L-400WN)	4-M13 (L-400WN)
備考	GLP-4.5 1-M16 (中)	GLP-6.0 4-M16 (中)

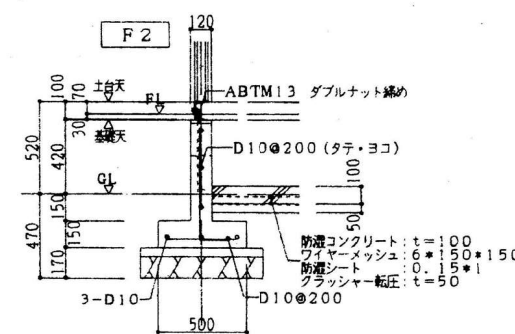
梁リスト S=1:30				
記号	G1	G2	G3	B1
断面	工	工	工	工
リスト	H-200*100*5.5*8	C-100*50*20*2.3	H-150*75*5*7	C-100*50*20*2.3
G. PL	6.0	4.5	6.0	4.5
HTB	2-M16 (中)	2-M12 (中)	2-M16 (中)	2-M12 (中)

一般事項

鉄骨 SS400 STKR400 錆止め塗料 JIS K5625 工場1回塗り
ボルト 中ボルト
ブレース
V1 1-M12 (ターンバックル締め) 1-M16 (中) PL-6*75 (L=80*2)
V2 1-M9 (ターンバックル締め) 1-M12 (中) PL-4.5*75 (L=80*2)
土台: [-100*50*5*7.5]



独立基礎詳細図 S=1:30



布基礎詳細図 S=1:30

一般事項

コンクリート 設計基準強度 $F_c = 21 \text{ N/cm}^2$
鉄筋 SD 295
設計地耐力 50.0 KN/m²

備考

一級建築士事務所
株式会社 彩都建築設計
Saito Architect and Design office

設計 照査 担当

工事名称 香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事

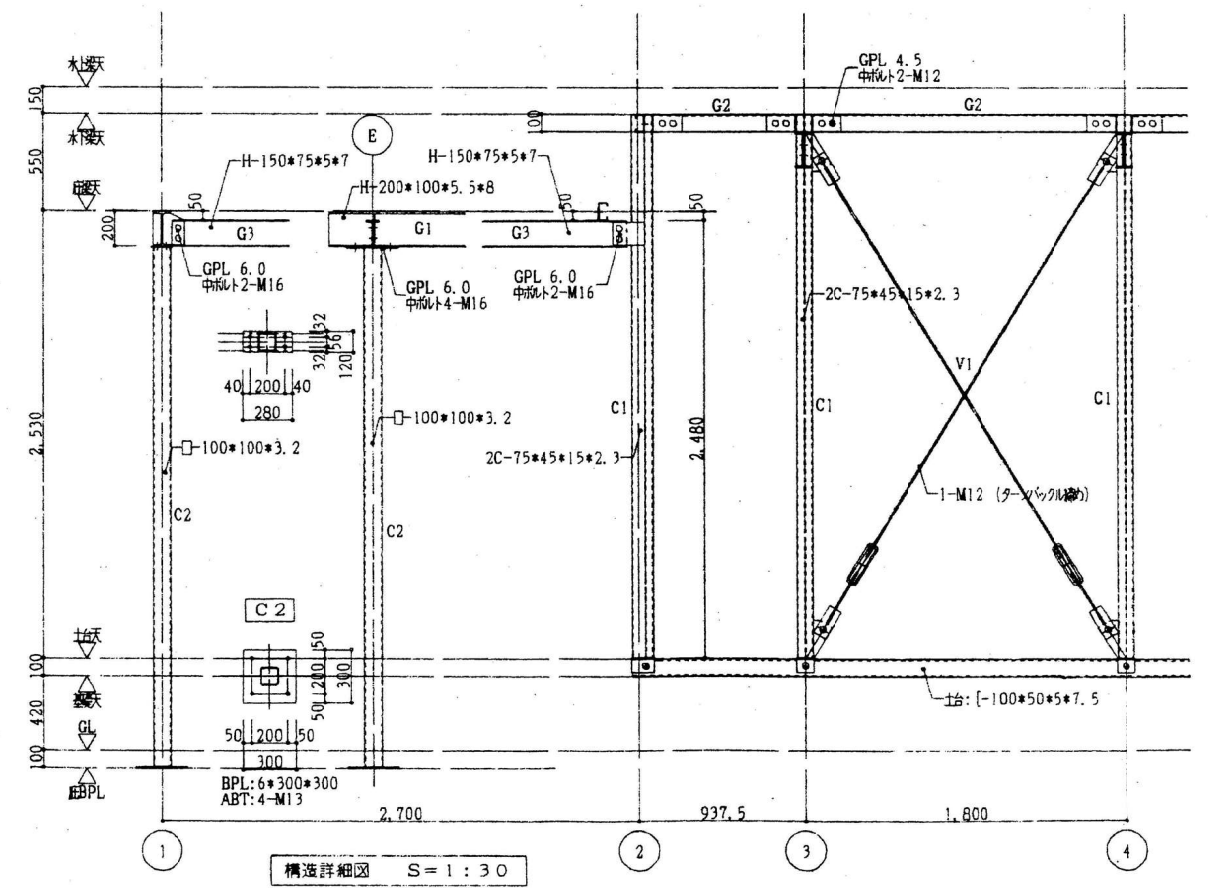
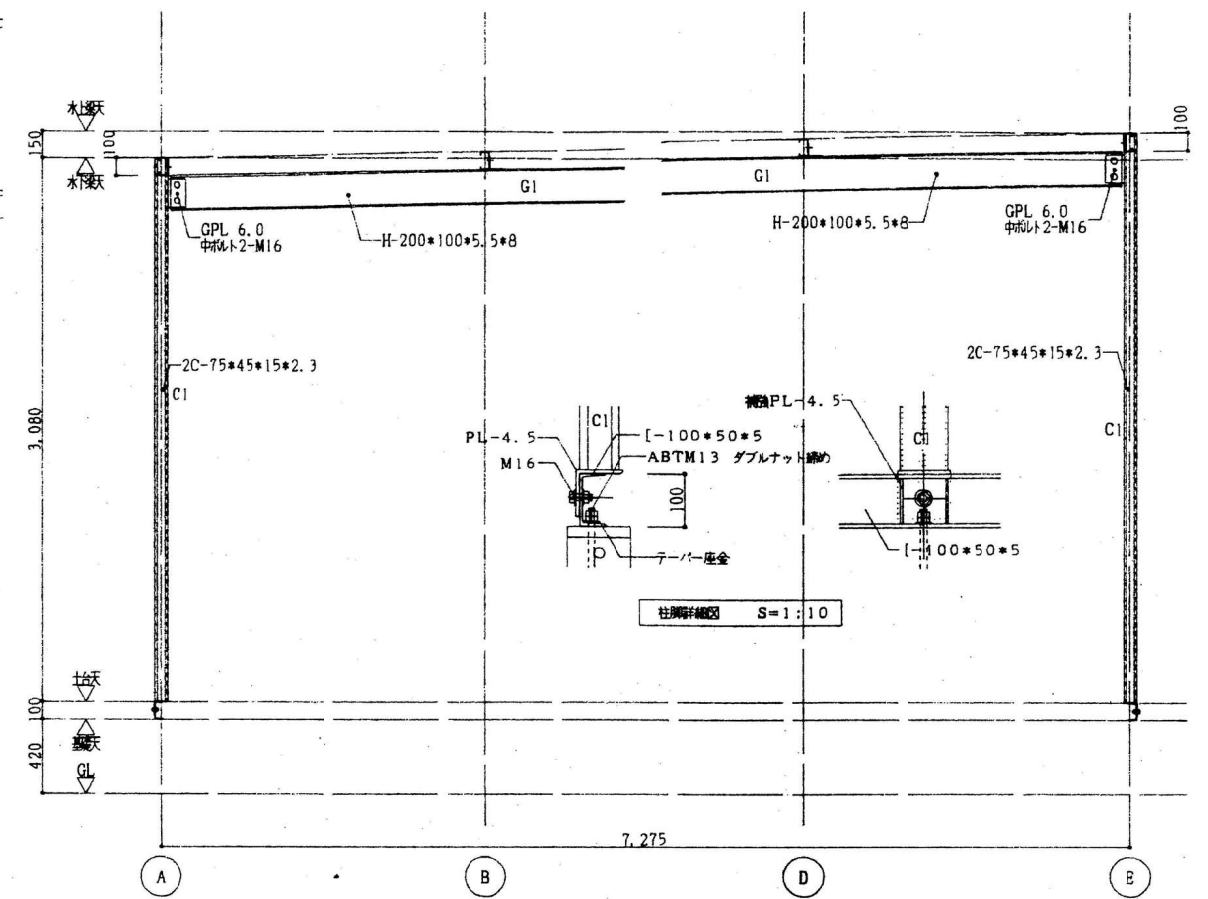
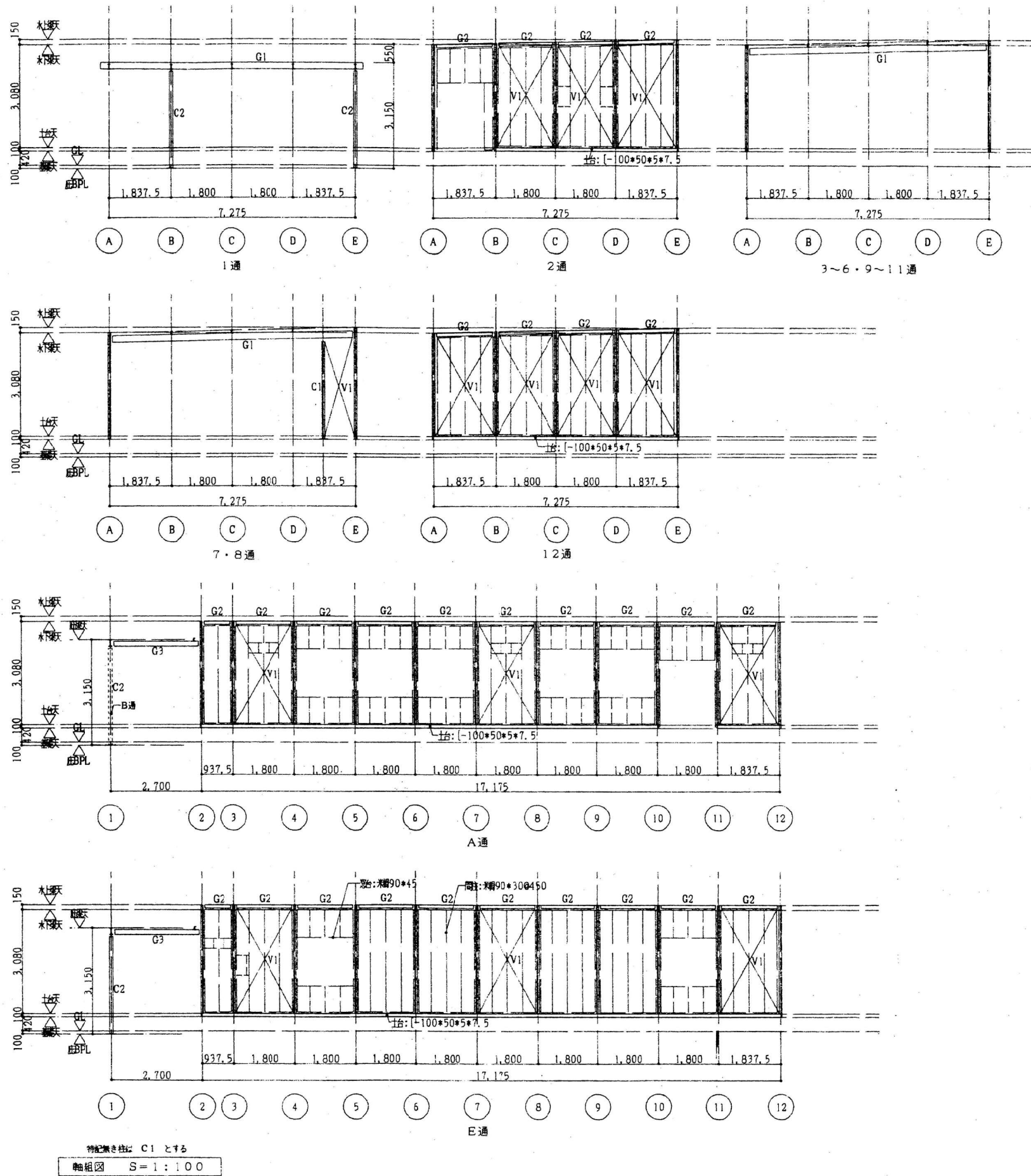
図面名称 構造図 1

作成年月日

縮尺
1/100 (A2)

図面番号

A-14



備考

一級建築士事務所
株式会社 彩都建築設計
Saito Architect and Design office

設計 照査 担当

工事名称 香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事

図面名称 構造図 2

作成年月日

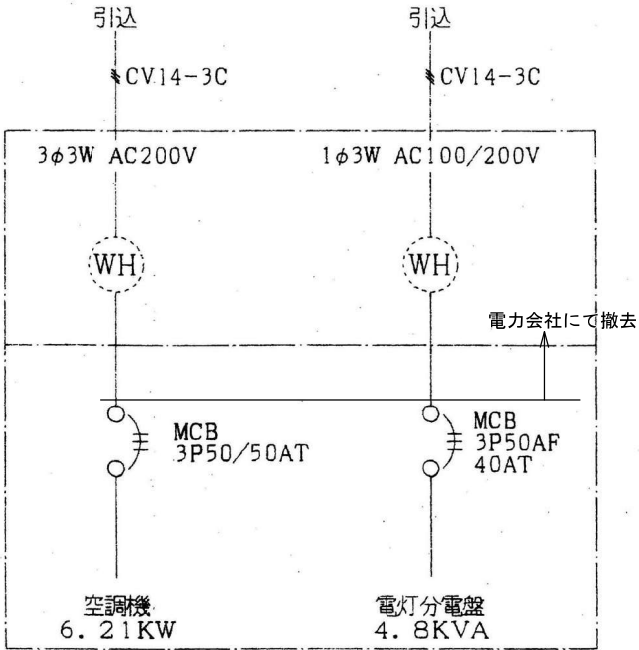
縮尺

1/100・30 (A2)

図面番号

A-15

平成31年版 Ver.1.2																																																																																																																																																																						
香芝市旭丘児童保育所解体工事 電気設備工事特記仕様書																																																																																																																																																																						
1. 工事概要																																																																																																																																																																						
1. 工事場所 香芝市旭丘																																																																																																																																																																						
2. 建物概要																																																																																																																																																																						
<table><tr><td>建物名</td><td>構造</td><td>階数</td><td>延床積 (㎡)</td><td>消防法令別表第一</td><td>新築安全性の分類</td><td>備考</td></tr><tr><td>学童保育所</td><td>鉄骨</td><td>1</td><td>139.63</td><td>6項</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					建物名	構造	階数	延床積 (㎡)	消防法令別表第一	新築安全性の分類	備考	学童保育所	鉄骨	1	139.63	6項	-																																																																																																																																																					
建物名	構造	階数	延床積 (㎡)	消防法令別表第一	新築安全性の分類	備考																																																																																																																																																																
学童保育所	鉄骨	1	139.63	6項	-																																																																																																																																																																	
3. 工事種目																																																																																																																																																																						
●印をつけたものを適用し、各一式とする。																																																																																																																																																																						
<table><tr><td>工事項目／棟別及び屋外</td><td>屋内</td><td></td><td></td><td></td><td>屋外</td></tr><tr><td>電 灯 設 備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>動 力 設 備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>電 熱 設 備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>雷 保 護 設 備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>受 変 電 設 備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>電力貯蔵設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>発電設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>横内情報通信設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>横内交換設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>情報表示設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>映像・音響設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>放送受信設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>テレビ共同受信設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>監視カメラ設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>駐車場管理設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>防犯・入退室管理設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>火災報知設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>中央監視制御設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>医療関係設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>横内配電線路 (外灯設備も含む)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>横内通信線路</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>テレビ電話障害防除設備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>撤去工事</td><td>●</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>土木工事</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>電気工事</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>機械設備工事</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>					工事項目／棟別及び屋外	屋内				屋外	電 灯 設 備	○	○	○	○	○	動 力 設 備	○	○	○	○	○	電 熱 設 備	○	○	○	○	○	雷 保 護 設 備	○	○	○	○	○	受 変 電 設 備	○	○	○	○	○	電力貯蔵設備	○	○	○	○	○	発電設備	○	○	○	○	○	横内情報通信設備	○	○	○	○	○	横内交換設備	○	○	○	○	○	情報表示設備	○	○	○	○	○	映像・音響設備	○	○	○	○	○	放送受信設備	○	○	○	○	○	テレビ共同受信設備	○	○	○	○	○	監視カメラ設備	○	○	○	○	○	駐車場管理設備	○	○	○	○	○	防犯・入退室管理設備	○	○	○	○	○	火災報知設備	○	○	○	○	○	中央監視制御設備	○	○	○	○	○	医療関係設備	○	○	○	○	○	横内配電線路 (外灯設備も含む)	○	○	○	○	○	横内通信線路	○	○	○	○	○	テレビ電話障害防除設備	○	○	○	○	○	撤去工事	●	○	○	○	○	土木工事	○	○	○	○	○	電気工事	○	○	○	○	○	機械設備工事	○	○	○	○	○
工事項目／棟別及び屋外	屋内				屋外																																																																																																																																																																	
電 灯 設 備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
動 力 設 備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
電 熱 設 備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
雷 保 護 設 備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
受 変 電 設 備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
電力貯蔵設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
発電設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
横内情報通信設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
横内交換設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
情報表示設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
映像・音響設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
放送受信設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
テレビ共同受信設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
監視カメラ設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
駐車場管理設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
防犯・入退室管理設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
火災報知設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
中央監視制御設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
医療関係設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
横内配電線路 (外灯設備も含む)	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
横内通信線路	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
テレビ電話障害防除設備	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
撤去工事	●	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
土木工事	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
電気工事	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
機械設備工事	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
II. 電気設備新築・改修工事仕様																																																																																																																																																																						
1. 共通仕様																																																																																																																																																																						
○ 本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書等による。																																																																																																																																																																						
○ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)																																																																																																																																																																						
○ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)																																																																																																																																																																						
○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「建築改修標準仕様書」という。)																																																																																																																																																																						
○ 公共建築設備工事標準図(電気工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)																																																																																																																																																																						
○ 建築物解体工事共通仕様書・同解説(令和4年版)(以下「解体共通仕様書」という。)																																																																																																																																																																						
2. 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面による。																																																																																																																																																																						
2. 特記仕様																																																																																																																																																																						
1) 項目及び特記事項は、※印または●印を適用とし、●印を優先とする。																																																																																																																																																																						
2) 特記事項に記載の() 内表示番号、(<) 内表示番号及び [] 内表示番号について、それぞれ標準仕様書、改修標準仕様書、建築改修標準仕様書及び解体工事共通仕様書の編・章・節・項を示す。																																																																																																																																																																						
3. 電気工作物の種類 ●印を適用とする。																																																																																																																																																																						
○ 契約電力500kW未満の自家用電気工作物																																																																																																																																																																						
○ 契約電力500kW以上の自家用電気工作物																																																																																																																																																																						
○ 一般用電気工作物																																																																																																																																																																						
○ 電気事業用電気工作物																																																																																																																																																																						
章	項目	特記事項																																																																																																																																																																				
一般	●適用基準等	県土マネジメント部建築工事監督及び検査必携 奈良県県土マネジメント部建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集																																																																																																																																																																				
	●設計図書の優先順位	(1)質問回答書(以下(2)から(5)までに対するもの) (2)現場説明書 (3)特記仕様書 (4)図面 (5)標準仕様書・改修標準仕様書 以上(1)から(5)の順番のとおりとする。(1.1.1.1)<(1.1.1.1)>ただし、明示なき材料、仕上り等については、監督職員の指示による。																																																																																																																																																																				
	●官公署その他への届出手続等	工事関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等は全て受注者が行うこと。この場合、「建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集(奈良県県土マネジメント部)」の書式に従い、日程管理を行う。(1.1.1.3)<(1.1.1.3)>																																																																																																																																																																				
	●工事実績情報の登録	※建築工事特記仕様書による。(1.1.1.4)<(1.1.1.4)>																																																																																																																																																																				
	○他工事との取合い	別記工事区分表による。(1.1.1.7)<(1.1.1.7)>																																																																																																																																																																				
	●疑義に対する協議等	設計図面に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取合い等の関係で、設計図面によることが困難若しくは不都合が生じた時は、監督職員と協議する。(1.1.1.8)<(1.1.1.8)>																																																																																																																																																																				
	○概成工期	現場説明書による。																																																																																																																																																																				
	●実施工程表	工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。実施工程表を変更する必要がある場合は、施工に支障が無いよう実施工程表を直ちに変更し、当該部分の施工に先立ち、監督職員の承諾を受ける。(1.1.2.1)<(1.1.2.1)>																																																																																																																																																																				
	●施工計画書	(1) 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書(総合施工計画書)を作成し、監督職員に提出する。 (2) 品質計画、施工の具体的な計画並びに工程の施工の確認内容及びその確認を行う段階を定めた施工計画書(工種別施工計画書)を、工事の施工に先立ち作成し、監督職員に提出する。 (3)(1)、(2)の施工計画書のうち、品質計画に係る部分については、監督職員の承諾を受ける。また、品質計画に係る部分について変更が生じる場合は、監督職員の承諾を受ける。(1.1.2.2)<(1.1.2.2)>																																																																																																																																																																				
	○電気保安技術者	標準仕様書又は改修標準仕様書に規定する電気保安技術者をおくものとする。電気保安技術者は、(事業用電気工作物に係る工事の場合、電気事業法に基づく電気主任技術者の業務を補佐すると共に)、監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。(1.1.3.2)<(1.1.3.2)>																																																																																																																																																																				
事項	●工事用電力設備の保安責任者	工事用電力設備の保安責任者として、法令に基づく有資格者を定め監督職員に報告する。保安責任者は適切な保安業務を行うものとする。[1.1.3.4]																																																																																																																																																																				
	○電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。																																																																																																																																																																				
	●施工案件	現場説明時の現場説明事項による。(1.1.3.3)<(1.1.3.3)>																																																																																																																																																																				
	●施工中の安全確保	常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。工事に関して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合は、該負者の責任において直ちに誠意をもって対応する。(1.1.3.5)<(1.1.3.5)>																																																																																																																																																																				
	●交通安全管理	工事期間中道路際には、一切車両を駐車しないようにすると共に、工事関係車両の出入りについては、必ず誘導員又は交通整理員を立て、交通渋滞、住民等の安全に留意すること。また、工事着手前に警察、その他関係機関、地元自治会、監督職員など十分打合せのうえ、安全管理を行う。なお、交通整理員については、現場説明事項による。(1.1.3.6)<(1.1.3.7)>																																																																																																																																																																				
	●災害時の安全確保	災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止に努め、その経緯を監督職員に報告する。(1.1.3.7)<(1.1.3.8)>																																																																																																																																																																				
	●施工中の環境保全等	関係法令に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。塗料、その他の化学製品の取扱いに当たっては、当該製品の化学物質安全データシート(MSDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。建設事業及び建設業のイメージアップのために、作業環境の改善、作業現場の美化等に努める。(1.1.3.8)<(1.1.3.9)>																																																																																																																																																																				
備 考																																																																																																																																																																						
一 級 建 築 士 事 務 所																																																																																																																																																																						
株 式 会 社 彩 都 建 築 設 計																																																																																																																																																																						
Saito Architect and Design office																																																																																																																																																																						
設 計 照 査 担 当																																																																																																																																																																						
工事名称 香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事																																																																																																																																																																						
図面名称 電気設備工事特記仕様書																																																																																																																																																																						
作成年月日 縮 尺 E-01 NON																																																																																																																																																																						



引込開閉器盤

屋外防水型ボックス
※松下電工(株)
スッカリボックス225型相当品

1φ3W AC100/200V

負荷名称	回路番号
開閉器定格(特記なきはSB)	負荷容量(VA)
トイレ・屋外照明 換気扇	1
2P30AF/20AT	630
学童保育室照明、換気扇	3
2P30AF/20AT	964
学童保育室コンセント	101
2P30AF/20AT	1,050
屋外コンセント	103
2P30AF/20AT	150
予備	105
2P30AF/20AT	0

回路番号	負荷名称
負荷容量(VA)	開閉器定格(特記なきはSB)
2	学童保育室照明、換気扇
1,554	2P30AF/20AT
4	予備
0	2P30AF/20AT
102	湯沸室・便所コンセント
300	2P30AF/20AT
104	テレビブースター
100	2P30AF/20AT
106	予備
0	2P30AF/20AT

電灯分電盤 合計 4.8KVA

プラスチック製ボックス、露出・半埋込兼用型
※松下電工(株) BQP783410相当品

照明器具姿図

A21	LEDライトバー	B322	LEDライトバー 撤去範囲外
※撤去後発注者に引渡しとする。			
C41	FL40W-1 防雨、防湿型	D101	HF100W-1
公共施設型番 FSS4MP-401相当品			
		ヘッド: 松下電工(株) YA42013相当品 ポール: 松下電工(株) YD3803相当品	

備考

一級建築士事務所

株式会社 彩都建築設計
Saito Architect and Design office

設計

照査

担当

工事名称

香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事

作成年月日

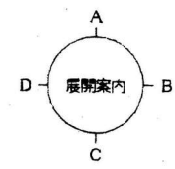
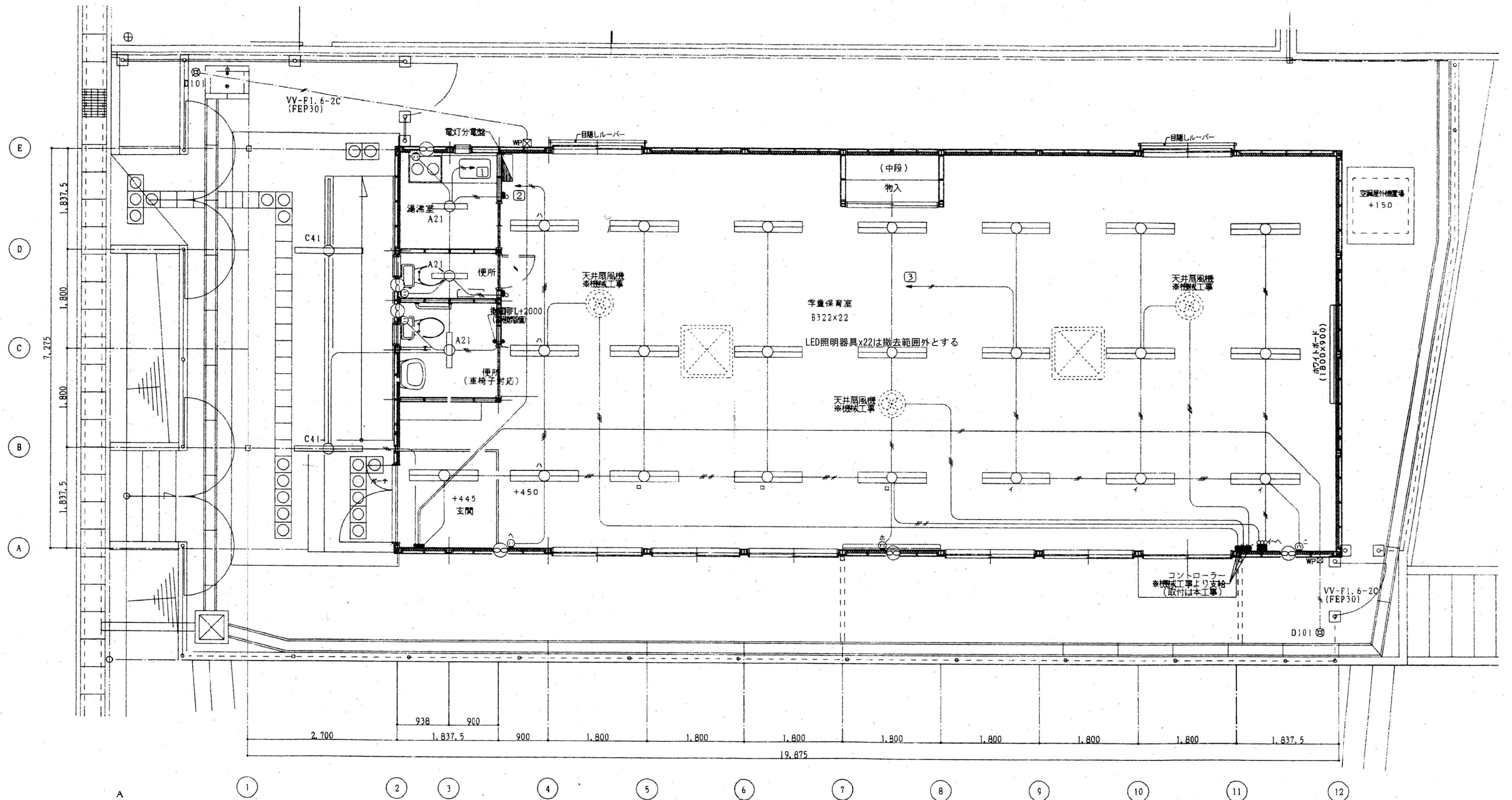
図面番号

図面名称

分電盤結線図・照明器具姿図

縮尺

E-02



注 記 事 項	
1. 特記なき配管、配線は下記とする。	
但し、二重天井内はケーブルころがし、その他の部分は	
下記電線管にて保護する。	
— VV-F1.6m-2C (PF16)	
— VV-F1.6m-3C (PF16)	
— VV-F1.6m-2C×2 (PF22)	
— VV-F2.0m-2C (PF16)	
2. 図示なくも、各機器には適切な接地を施すこと。	

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所 香芝市 旭ヶ丘

2. 建物概要

建物名	構造	階数	延面積 (m ²)	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備 考
学童保育所	鉄骨	1	139.63	6項	－	

3. 工事種目

●印をつけたものを適用し、各一式とする。

工事項目／棟別及び屋外	屋内				屋外
空調設備	○		○	○	○
換気設備	○		○	○	○
排煙設備	○		○	○	○
自動制御設備	○		○	○	○
衛生器具設備	○		○	○	○
給水設備	○		○	○	○
排水設備	○		○	○	○
給湯設備	○		○	○	○
消火設備	○		○	○	○
ガス設備	○		○	○	○
浄化槽設備	○		○	○	○
厨房機器設備	○		○	○	○
さく井設備	○		○	○	○
昇降機設備	○		○	○	○
機械式駐車設備	○		○	○	○
井水揚水設備	○		○	○	○
医療ガス設備	○		○	○	○
撤去工事	●		○	○	●

Ⅱ. 機械設備工事仕様

1. 共通仕様

1) 本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)&及び公共建築設備工事標準図(機械工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。))による。

2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合は、その仕様は当該図面による。

2. 特記仕様

1) 項目及び特記事項は、※印または●印を適用とし、●印を優先とする。

2) 特記事項に記載の() 内表示番号は標準仕様書の編・章・節・項を示す。また、< >内の表示番号は改修標準仕様書の編・章・節・項を示す。

章	項 目	特 記 事 項
一般	※適用基準等	● 県土マネジメント部建築工事監督及び検査必携 ● 建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集 奈良県県土マネジメント部 奈良県県土マネジメント部
	※設計図書優先順位	(1) 質問回答書(以下(2)から(5)に対するもの) (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 標準仕様書・改修標準仕様書 以上(1)から(5)の順番のとおりとする。(1.1.1.1)<1.1.1.1> ただし、明示なき材料、仕上り等については、監督職員の指示による。
	※官公署その他の届出、手続等	工事関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等は全て請負者が行うこと。 この場合、「建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集(奈良県県土マネジメント部)」の書式に従い、日程管理を行う。(1.1.1.3)<1.1.1.3>
	※工事実績情報の登録	※建築工事特記仕様書による。(1.1.1.4)<1.1.1.4>
	○他工事との取合い	別記工事区分表による。(1.1.1.7)<1.1.1.7>
事	※疑義に対する協議等	設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり取り合い等の関係で設計図書によることが困難若しくは不都合な場合が生じた時は、監督職員と協議する。(1.1.1.8)<1.1.1.8>
	○概成工期	現場説明書による。
	※実施工程表	工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。 実施工程表を変更する必要性が生じた場合は、施工に支障が無いよう実施工程表を直ちに変更し、当該部分の施工に先立ち、監督職員の承諾を受ける。(1.1.2.1)<1.1.2.1>
	※施工計画書	(1) 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書(総合施工計画書)を作成し、監督職員に提出する。 (2) 品質計画、施工の具体的な計画並びに一工程の施工の確認内容及びその確認を行う段階を定めた施工計画書(工種別施工計画書)を、工事の施工に先立ち作成し、監督職員に提出する。 (3) (1)、(2)の施工計画書のうち、品質計画に係る部分については、監督職員の承諾を受ける。また、品質計画に係る部分について変更が生じる場合は、監督職員の承諾を受ける。(1.1.2.2)<1.1.2.2>
項	○電気保安技術者及び工事用電力設備の保安責任者	※適用する 電気保安技術者は、(事業用電気工作物に係る工事の場合、電気事業法に基づく電気主任技術者の業務を補佐すると共に、)監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。(1.1.3.2)<1.1.3.2> 工事用電力設備の保安責任者として有資格者を定め、監督職員に報告する。(建1.1.3.4)
	※施工条件	現場説明書による。(1.1.3.3)<1.1.3.3>

	※施工中の安全確保	工事現場周辺の状況を調査判断し、本工事施工によって生じる騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。工事に關して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合は、請負者の責任において直ちに誠意をもって対応する。 (1.1.3.5)<1.1.3.5>										
	※交通安全管理	工事期間中道路路面には、一切車両を駐車しないようにすると共に、工事関係車両の出入りについては、必ず誘導員又は交通整理員を立て、交通渋滞、住民等の安全に留意すること。また、工事着手前に警察、その他関係機関・地元自治会、監督職員などと十分打ち合わせのうえ、安全管理を行う。 (1.1.3.6)<1.1.3.7>										
	※災害時の安全確保	災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止に努め、その経緯を監督職員に報告する。 (1.1.3.7)<1.1.3.8>										
	●施工中の環境保全等	関係法令に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。塗料、その他の化学製品の取扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成したJIS Z 7253を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。建設事業及び建設業のイメージアップのために、作業環境の改善、作業現場の美化等に努める。 (1.1.3.8)<1.1.3.9>										
	●施工調査	○工事の着手に先立ち、施工計画調査を行うと共に、次の関係者と当該工事に必要な事前打合せを行う。 ○施設管理者 ○当該施設の電気主任技術者 ○関係官公署（建築主事、消防事等） ○電気事業者 ○（ ） <1.1.5.1><1.1.5.3>										
	●地中埋設物等	標準仕様書又は改修標準仕様書によるほか、下記による。 施工前に、当該工事にかかわる地中埋設物等（建物内又は既設コンクリート内の既設配管配線を含む）について事前調査を行う。既設構造物の位置及び既設理設配管の経路等が不明な場合は、探査方法及び試験堀方法を監督職員と協議する。										
	●発生材の処理等	※再資源化を図るもの (1.1.3.9)<1.5.1><1.5.1.2> ○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ○コンクリート2次製品 ○建設発生木材 ※再生資源利用【促進】計画（実施）書を提出する。 （建設副産物対策近畿地方連絡協議会編） ※産業廃棄物の処理 関係法令に従い、構外搬出適切処理とし搬出書類等提出する。なお、県内の最終処分場に搬入することとなる場合は、奈良県産業廃棄物税条例相当額を支払うこと。 ※産業廃棄物管理票（マニフェスト）を提出する。 ○引き渡しを要するもの（ ） ○現場において再利用を図るもの（ ） ●フロム類（冷媒及び消火ガス等）は、抜取り回収後破壊処分を行い、証明書を提出する。 ●特定家庭用機器再商品化法に該当するものは適法処理とする。 ●ユニット形エアコン（室内機）形エアコン又は室内ユニットが壁掛形もしくは床置き形であるバリエーション形エアコンに限る。）										
般	○機材等	※別記（設備機材）に掲げる設備機材は、（一社）公共建築協会発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」に記載されたもの（ただし、評価の有効期限内のものに限る）を使用する。この場合、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料（製作図、試験成績書等は除く）に替える。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 (1.1.4.2)<1.4.2> ※本工事に使用する設備機材等のうち、設備機材等指定表等により特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものを使用する。ただし、使用する。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。										
事	○建築材料・設備機器	※建物内部（天井裏、床下、P.S.E.P.S.D.S等を含む）及びダクト等の内部に使用する下地に掲げる各材料・機材等は、それぞれに定められた基準等に適合するものを選定する。										
		<table><tr><th>材 料 等</th><th>基 準 等</th></tr><tr><td>①接着剤</td><td>次の1、2及び3を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。なお、接着剤は可塑剤が添加されていない材料を使用する。（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものは除く）</td></tr><tr><td>②保温材 緩衝材 断熱材</td><td>次の1、2を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。</td></tr><tr><td>③塗料</td><td>次の1、2及び3を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。</td></tr><tr><td>④設備機器</td><td>製品を構成する建築材料は、次の1及び2を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。 (1.1.4.1)<1.1.4.1></td></tr></table> <p>なお、F☆☆☆☆の規格に適合するものと規定された材料等で、F☆☆☆☆に適合する材料等がない場合は、監督員と協議を行うこと。</p>	材 料 等	基 準 等	①接着剤	次の1、2及び3を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。なお、接着剤は可塑剤が添加されていない材料を使用する。（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものは除く）	②保温材 緩衝材 断熱材	次の1、2を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。	③塗料	次の1、2及び3を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。	④設備機器	製品を構成する建築材料は、次の1及び2を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。 (1.1.4.1)<1.1.4.1>
材 料 等	基 準 等											
①接着剤	次の1、2及び3を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。なお、接着剤は可塑剤が添加されていない材料を使用する。（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものは除く）											
②保温材 緩衝材 断熱材	次の1、2を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。											
③塗料	次の1、2及び3を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。											
④設備機器	製品を構成する建築材料は、次の1及び2を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少ないものであること。 (1.1.4.1)<1.1.4.1>											
項	※図面照査	契約書18条の図面照査及び現場調査を行い、報告書を提出すること。										

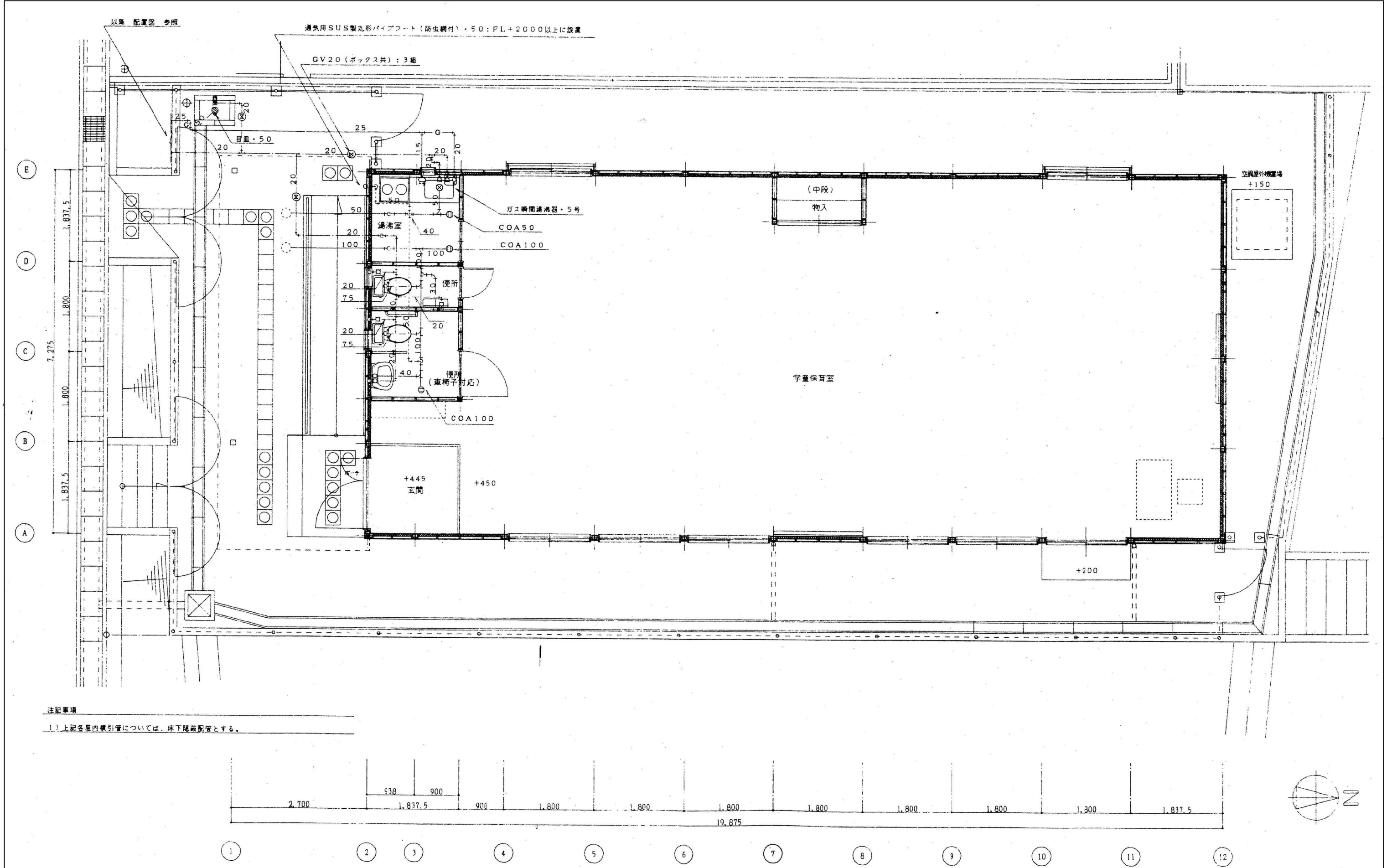
一般	○機材の試験	機材の品質及び性能を試験により証明する場合は、試験に先立ち試験計画書を作成のうえ、監督職員に提出し、原則として監督職員の立ち会いを受けて行う。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。(1.1.4.6)<1.1.4.6>																			
	○見本施工の実施	図示による。(図面番号) (1.1.5.4)<1.1.6.5>																			
	○色彩による表示及び指示	監督職員の指示による。(1.1.4.2)(1.1.7.4)<1.1.4.2><1.1.8.5>																			
	○技能士	適用する。 ○1級配管技能士(配管工事) ○1級熱絶縁施工技能士(保温工事) ○1級建築板金技能士(ダクト製作及び取付) ○1級冷凍空気調和機器施工技能士(リフティング、パッケージ形空気調和機の据付及び整備)(1.1.5.2)<1.1.6.2>																			
	○化学物質の濃度測定	※実施する(○着工前 ※施工完了後)(1.1.5.8)<1.1.6.9> 測定対象化学物質ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン 測定対象室及び測定箇所数 <table><tr><td>室名</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>箇所数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 測定方法は監督職員の指示による。				室名						箇所数									
	室名																				
	箇所数																				
	○中間技術検査の実施	○県土木マネジメント部の監督及び検査の実施に関する取り扱い要領により中間検査を行う。(1.1.6.2)<1.1.7.2>																			
	●完成時の提出図書	※作成する。(機器製作図含む)(1.1.7.1)~(1.1.7.3)<1.1.8.1>~<1.1.8.4> ※ ※受注者に於いて設計図に基づき全ての図面を完成図として作成 (設計図 第2原図訂正可)し、糊張製本「3」部提出する(原図共) 製本サイズ(○A1 ●A2 ●A3) ※完成図は、原則として黒文字製本とし、表紙の書き方は監督職員の指示とする。 ※完成図CADデータを提出する。 ※参考CADデータの貸与 ●あり ○なし																			
	事項	○安全に関する資料等	建築物等の利用に関する説明書、機器取扱説明書、機器性能試験成績書、官公署届出書類、主要機器一覧表、総合調整測定表)を(※1部 ○「 」部)提出する。 ●その他の引き渡し書類 保証書、施工図(制御システム図・機器配管固定の施工図等)、施工計画書、各種承諾図、工事写真、その他各種検査書類等を整理し、監督職員の指示する部数を提出する。 ○既存完成図の修正(多年度継続工事の場合) 既存完成図を今回工事の内容を含んだものに修正し、全体完成図として提出する。																		
●工事写真・完成写真		※工事写真 「工事写真の撮影マニュアル(奈良県土木マネジメント部監修)」による。 ※完成写真 ※工事写真に準じて作成する。 ○下表による。(1.1.2.4)<1.1.2.4> <table><tr><td>分類・規格</td><td>撮影枚数</td><td>部数</td><td>原板の大きさ(mm)</td></tr><tr><td>○カラーサービス版</td><td>○0 ○6 ○9</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>●カラーキャビネ版</td><td>監督職員指示箇所</td><td></td><td></td></tr></table> (ただし、上記写真は、アルバム製本とする。)				分類・規格	撮影枚数	部数	原板の大きさ(mm)	○カラーサービス版	○0 ○6 ○9							●カラーキャビネ版	監督職員指示箇所		
分類・規格		撮影枚数	部数	原板の大きさ(mm)																	
○カラーサービス版		○0 ○6 ○9																			
●カラーキャビネ版		監督職員指示箇所																			
○完成写真として、全紙パネルを		部提出し、																			
○誘導電動機		電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JIS C 4213(低圧三相かご形誘導電動機—低圧トッランナーモータ)による。(2.1.2.1)																			
○制御及び操作盤		機器に付属する制御及び操作盤の仕様の優先順位は、次の(1)~(3)の順番のとおりとする。 (1) 図示による。(図面番号) (2) 標準仕様書第2編表2.1.6~2.1.8による。 ただし、標準仕様書各編で製造者の標準仕様と明示されたものは除く。また、同表の各機材ごとの△印の項目の適用は、○適用する ○適用しない インバータ用制御及び操作盤の仕様において標準仕様書第2編1.2.2.2(2)~(4)の規定を、○適用する(高調波対策 ○要 ○不要) ○適用しない (3) 製造者の標準仕様(2.1.2.2)																			
○総合調整		※本工事 総合調整を行う項目は下記による。(2.1.3.3)<2.1.3.3> ○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気温度測定 ○室内気流及び塵埃の測定 ○騒音測定 ○初期運転状態の測定 ○飲料水の水質測定(※水道法施行規則第10条による水質検査 ○飲料水適合検査) ○雑用水質の測定 (※建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第四条の二による)																			
○継手	管端コア付鋼管を除く塩化ビニルライニング鋼管、耐熱性塩化ビニルライニング鋼管及びポリ粉体鋼管で、ねじ接合する場合の継手は管端防食継手とし、パイプニップルは管端防食継手用パイプニップルとする。(2.2.1.2)																				
○一般用弁の耐圧	図面に明記なき一般用弁の耐圧は、下記による。(2.2.2.1) 水道直結配管に使用する弁は、JIS 0.98MPa(10K)弁とする。 その他配管に使用する弁は、JIS 0.49MPa(5K)弁 ○JIS 0.98MPa(10K)弁																				
○鋼管用伸縮管継手	※ベローズ形 ○スリーブ形(2.2.2.7)																				
○耐火二層管伸縮継手	取付箇所は図示による(2.2.5.16)<2.2.3.16>																				

備 考	一 級 建 築 士 事 務 所 株 式 会 社 彩 都 建 築 設 計 Saito Architect and Design office	設 計	照 査	担 当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号 M-01
					図面名称	機械設備工事特記仕様書	縮 尺 NON	

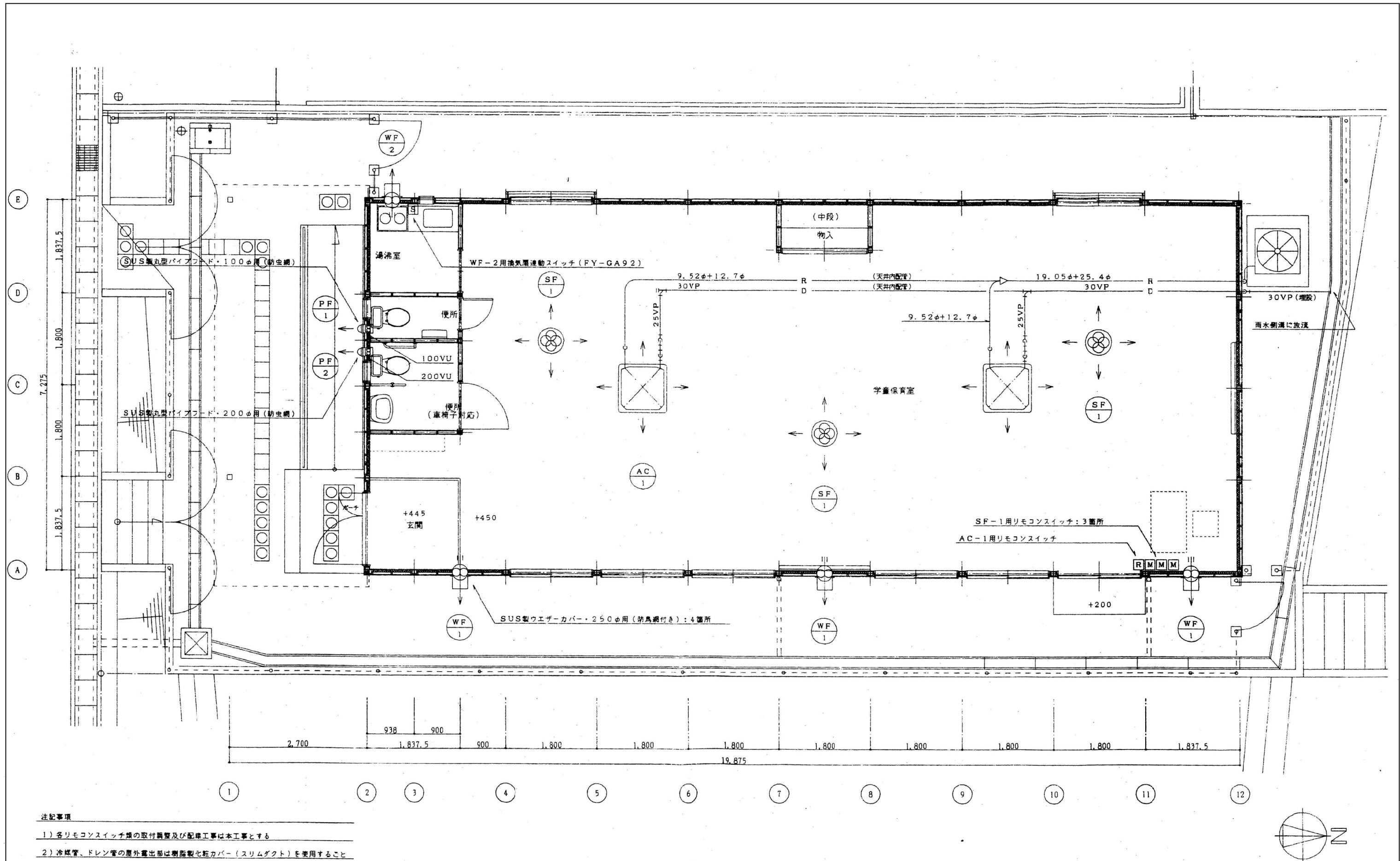
衛 生 器 具 表				
器 具 名	品 番	付 属 品 及 び 備 考	室 名	数 量
床掛式タンク密結形 防霧便器	CS670B ・SH670BA	TES90（リモコン便器洗浄ユニット） TC264・YH51 他付属品共	便所 （車椅子対応）	1組
洗 面 器	L230S	T205Q・T6S・TS126AR・T4AU・他付属品共	〃	1組
化粧鏡	TS119FEAY3	付属品共	〃	2組
手 す り	T112CL1	樹脂被覆タイプ多用途用・L型・付属品共	〃	1組
手 す り	T112CP2	樹脂被覆タイプ腰掛便器用・P型・付属品共	〃	1組
床掛式タンク密結形 防霧便器	CS670B ・SH670BA	TC264・YH51 他付属品共	便所	1組
埋込型手洗器	LSJ870ASFM	付属品共	便所	
横形泡末自在水栓	T131S13	流し用	湯沸室	1個
アングル止水栓	T4A	瞬間湯沸器用・SUS製フレキ管共	湯沸室	1個
L B ベアガス栓	151-368		湯沸室	1個
L型可とう管ガス栓	151-608	瞬間湯沸器用・継手付13φ強化ガスホース共	湯沸室	1個
ガス瞬間湯沸器	033-0064型	都市ガス用・5号・元止式・換気扇連動アタッチメント共	湯沸室	1台
一 槽 流 し 台	建築工事	各部への接続は本工事	湯沸室	1組
バックガード付コンロ台	建築工事		湯沸室	1組
吊 戸 棚	建築工事		湯沸室	1組
キ ー 式 ホ ー ム 水 栓	T200CS13		屋外	1個
樹脂製水栓柱	900Hタイプ		屋外	1個
目 皿	50		屋外	1個
床 上 掃 除 口	COA50		湯沸室	1個
床 上 掃 除 口	COA100		便所・湯沸室	2個
特記事項				
1）便器カラーはホワイト・パステル又はハーベストカラーとする。				

冷 暖 房 ・ 換 気 機 器 表				
記 号	機 器 名	仕 様 及 び 備 考	数 量	参 考 品 番
AC 1	空冷ヒートポンプエアコン	4方向天井カセット型・ツイン同時運転タイプ 冷房能力=22.4Kw・暖房能力=25.0Kw 三相200V・圧縮機=3.0Kw×2・送風機=0.45Kw+（0.09Kw×2） ワイヤードリモコン・室内機用吊用防振ゴム・室外機用防振ゴム 他付属品共	1基	SPW- SCHRPP 224A （三洋電機）
WF 1	インテリア形換気扇 （格子タイプ）	電気式シャッター・250φ×714m3/h×单相100V20.0W 不燃枠・SUS製屋外フード（防鳥網付）・他付属品共	3台	FY-25 EE4/43 （松下精工）
WF 2	台所用換気扇 （金属製）	電気式シャッター・250φ×918m3/h×单相100V28.4W 不燃枠・SUS製屋外フード（防鳥網付）・換気扇連動スイッチ 他付属品共	1台	FY-25EM2 （松下精工）
PF 1	パイプ用ファン （格子タイプ）	100φ用×40m3/h×10Pa×单相100V2.5W・プラグコード付 SUS製丸型パイプフードフード（防虫網付）100φ 他付属品共	1台	FY-08 PDA6 （松下精工）
PF 2	パイプ用ファン （格子タイプ）	200φ用×170m3/h×10Pa×单相100V14.5W・プラグコード付 SUS製丸型パイプフードフード（防虫網付）200φ 他付属品共	1台	FY-16 PDTD （松下精工）
SF 1	産業用扇風機 （オート扇）	天井設置型・羽根径=30cm・单相100V43.0W コントロールスイッチ（F-ZL1RW） 他付属品共	3台	FY-30L2 W-H （松下精工）
注記事項	1）エアコン用・扇風機用リモコンスイッチの取付調整、配線工事、室内機～室外機間の2次側電気工事は全て本工事とする。			
	2）室外機用コンクリート基礎は建築工事とする。			

1）便器カラーはホワイト・パステル又はハーベストカラーとする。



備 考	一級建築士事務所 株式会社 彩都建築設計 Saito Architect and Design office	設 計	照 査	担 当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号
					図面名称	平面図 (衛生)	縮 尺 1/50 (A2)	M-04



- 注記事項
- 1) 各リモコンスイッチ類の取付調整及び配線工事は本工事とする
 - 2) 冷媒管、ドレン管の屋外露出部は樹脂製化粧カバー（スリムダクト）を使用すること

備 考	一級建築士事務所 株式会社 彩都建築設計 Saito Architect and Design office			設 計	照 査	担 当	工事名称	香芝市旭ヶ丘学童保育所解体工事	作成年月日	図面番号 M-05
							図面名称	平面図（空調・換気）	縮 尺 1/50 (A2)	